

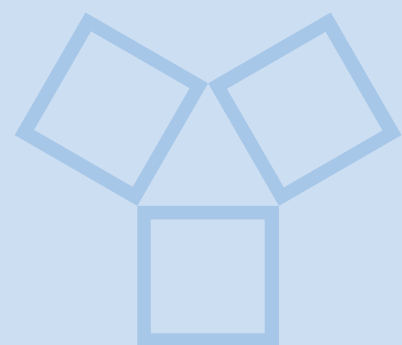
2014

平成 26 年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2014 – March 2015



YOKOHAMA MUSEUM OF ART

2014

平成 26 年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2014 – March 2015

序

平成26年度は、横浜美術館が開館してから25周年目を迎えました。

また、横浜市芸術文化振興財団が、横浜美術館の第2期指定管理者として指名された2年目にあたります。昨年度に続き、発信力、教育プログラム、市民とつながるプログラム、営業力、経営基盤と人材の強化をかけた、国際都市横浜にふさわしい世界に開かれた美術館を目指して邁進してまいりました。

魅力ある企画展やコレクション展の構築、市民のアトリエや子どものアトリエでの豊かな創作の機会提供に加え、多様な教育プログラムの展開、海外美術館との連携の強化を行うとともに、ウェブサイトのリニューアルし来館者サービスの充実にも努めました。

今年度の企画展は、春の当館コレクションを核とした魅惑のニッポン木版画展に始まり、夏は3年に一度の現代美術の国際展であるヨコハマトリエンナーレ2014を、冬には日本美術に影響を受けたジャポニスムの画家、ホイットラーの展覧会を開催しました。また、若手作家の創作活動支援を目的としたNew Artist Picksでは、東北の民族文化に触発された作品を制作する田中望を取り上げました。

コレクション展では、春には、アーティスト同士の交遊に光を当て、冬には、抽象画、光と影に焦点を当てた展覧会を実施しました。いずれも展示内容が企画展と緩やかに連なるようにテーマを設定したほか、新たに収蔵した奈良美智の《春少女》(2012年)を公開し、多彩なコレクションの魅力を伝えられるよう試みました。

さらに、当館コレクションを海外で初めて紹介する展覧会“Image & Illusion: Video Works from the Yokohama Museum of Art”をシンガポール美術館にて開催し、国際交流を推進しました。また、コレクションをご支援頂いている「横浜美術館コレクション・フレンズ」の取組みも5周年を迎え、会員の皆さまにも、理解を深めていただいています。

そして、教育プログラムでは、ヨコハマトリエンナーレ2014期間中に、当館が育成したサポーターによる個人および団体向け事前ガイダンスを今回初めて継続的に実現させました。また、子どものアトリエ、市民のアトリエでは、さまざまなワークショップを深化させ、市民と美術館の一層多様な関係を築きました。

ミュージアムショップを7月にリニューアルオープンし、グランドギャラリーやカフェでは、展覧会や季節に合わせた設えを行ったほか、ウェブサイトやファシリティガイドの多言語化にも取り組み、より来館しやすく、多角的に美術館を楽しんで頂ける環境整備に努めています。

横浜美術館は、これからも研究機関としての核を大切にしながらも、市民に開かれた文化拠点としての役割を果たし、国内外に発信できる魅力ある美術館を目指してまいります。

横浜美術館館長 逢坂恵理子

目次

基本方針・沿革	7
展覧会事業	
概要	9
企画展1 開館25周年記念 魅惑のニッポン木版画	10
企画展2 ヨコハマトリエンナーレ2014 「華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある」	12
企画展3 横浜美術館開館25周年 ホイッスラー展	14
横浜美術館コレクション展 2014年度第1期	16
横浜美術館コレクション展 2014年度第2期	18
コレクション展の海外巡回	20
New Artist Picks 田中望展「潮つ路」	22
調査研究・普及活動(個人)	24
美術情報センターの活動	27
教育普及事業	
概要	29
鑑賞サポート	30
子どものアトリエ	35
市民のアトリエ	38
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	
市民協働	41
地域社会や市民生活に貢献する事業	43
美術品の収集、保存・修復、貸出	
収集	45
保存・修復	46
貸出	47
広報の活動、外部と連携した事業	
広報	50
外部と連携した事業	52
来館者へのおもてなし	54
国際的な交流・発信	55
資料	
入館者数・収支	60
役員等・組織図	61
職員名簿	62
条例・施行規則	63
施設概要・利用案内	68

注

本年報では、各展覧会を一部下記の略称で表記しています。

「開館25周年記念 魅惑のニッポン木版画」… 木版画展

「ヨコハマトリエンナーレ2014『華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある』」
… ヨコハマトリエンナーレ2014

「横浜美術館開館25周年 ホイッスラー展」… ホイッスラー展

「横浜美術館コレクション展」… コレクション展

「New Artist Picks 田中望展「潮つ路」」… 田中望展

基本方針・沿革

基本方針：国際都市横浜にふさわしい世界に開かれた美術館を目指して

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、横浜市との政策協働による指定管理者制度に基づき、平成25年度から10年間にわたり横浜美術館の運営を担います。今後10年間にわたる重点項目として、「発信力の強化」「教育プログラムの強化」「市民とつながるプログラムの強化」「営業力の強化」「経営基盤と人材の強化」の5つを定め、次に掲げる美術館を目指します。

- ・市民の誰もが美術に親しみ、多くの市民に「観る」「創る」「学ぶ」機会を提供することにより、市民の創造性を育み、心豊かで活力に満ちた生活の実現に貢献する美術館。
- ・世界各国の美術館や美術関係者などとのネットワークの強化や国際交流を促進するとともに、横浜独自の魅力的で質の高い美術文化を国内外に発信することにより、国際都市横浜の魅力とアイデンティティの確立に貢献する美術館。
- ・市民、学校、NPO、企業等の様々な立場や年代、属性を持つ人々と協働することにより、市民から親しまれ、市民が集う、地域に開かれた美術館。
- ・未来を担うこどもたちの創造性を育むため、地域の学校や大学などと連携した取組みを進め、文化芸術教育の中心的な役割を担う美術館。

沿革

昭和62年10月	運営組織として財団法人横浜市美術振興財団設立
昭和63年3月	建物竣工
9月	横浜美術館条例制定
平成元年2月	外構工事完了
3月25日	美術館開設(横浜博覧会施設として)
11月3日	横浜美術館条例施行・開館
平成14年4月	運営組織が財団法人横浜市文化振興財団と統合され、財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成18年4月	管理運営に指定管理者制度が導入され、財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。
平成20年4月	横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント共同事業体が指定管理者となる。
平成21年7月	財団法人横浜市芸術文化振興財団が公益法人として認可され、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成25年4月	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。

展覧会事業

概要

横浜美術館の展覧会事業では、概ね、年4回の企画展、年3回のコレクション展(平成26年度はヨコハマトリエンナーレ2014開催のため、企画展3回、コレクション展2回を開催しました)、年1回のNew Artist Picksの展覧会を開催しています。

各展覧会とも以下のような方針を持っていますが、コレクションをベースにする企画展や、企画展と連動したテーマのコレクション展など、相互に繋がりをもたせ、横浜美術館ならではの展覧会を発信しています。

企画展

[展覧会の方針]

横浜美術館は下記の基本方針により企画展を立案・実施しています。

- 1 国際港都横浜にふさわしい世界的な視野の企画。
- 2 地域の人々が現代美術に親しみ、現代美術に対する理解を促すような企画。
- 3 横浜と日本写真史の関係を重視し、国際的視野における現代までの写真を多角的にとらえた企画。
- 4 近代日本の美術および横浜ゆかりの美術展。特に原三溪ゆかりの作家を重視しつつ、開港以来の洋画・日本画の流れを歴史的にとらえた企画。また、横浜出身または在住作家を中心に、横浜の美術史を多角的に紹介する企画。
- 5 建築、工芸、デザインなど生活に密着した分野の企画。

(平成26年度3展合計入場者数：282,184人)

コレクション展

[展覧会の方針]

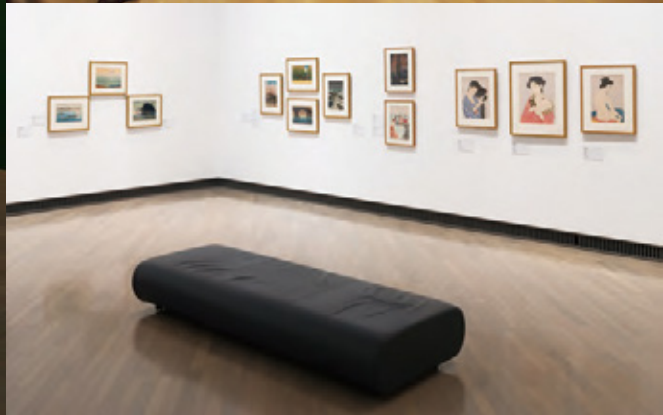
コレクション展では、年間を3期に分けて所蔵品を紹介しています。当館の収集方針に基づき、分野ごとの特徴をわかりやすく展示しています。写真展示室では、約4,000点ほどの写真のコレクションからテーマを設定し、世界の写真芸術を紹介しています。

(平成26年度2展合計入場者数：153,491人)

New Artist Picks

3年ごとに横浜美術館を会場の一つとして開催される横浜トリエンナーレを視野にいて、ユニークな活動を展開しつつある有望な若手アーティストを独自の視点で選出し紹介しています。

(平成26年度入場者数：8,086人)



企画展1 開館25周年記念 魅惑のニッポン木版画

日本人にとって親しみ深い、伝統的な版画技法である木版画に着目し、作品としての木版画だけではなく、千代紙や引き札など身の回りの品々も含めた多様な木版画表現を、「幕末・明治」「大正から昭和」「1950年代以降」「現代」の4章に分けて紹介しました。出品作品は、横浜美術館の1,600点におよぶ木版画コレクションから、各作家の代表作を選定し、さらに他館からの借用品と現代作家による新作を加えた228件で構成しました。

開催にあたっては、授業で木版画を習う横浜市内の小学校4・5年生全員へ割引チラシを配布したり、横浜市教育委員会と協力して鑑賞カードを作成したりと、子どもと学校に対する取組みを重点的に行い、来場を呼び掛けました。また、展示室内には伝統木版画制作のビデオや木版画の道具コーナーを設置し、さらに記念講演会、摺りと鑑賞のワークショップ、現代作家によるアーティスト・トークなど、さまざまな角度から木版画の魅力に触れてもらえるイベントを開催しました。また、美術館初の試みとして、ボランティアによる企画展の「見どころ紹介」も行いました。

主催: 横浜美術館、日本経済新聞社
後援: 横浜市、横浜市教育委員会
協力: みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社、結工房、田嶋宏行記念美術館
会期: 平成26年3月1日(土)-5月25日(日)
開催日数: 74日
観覧料: 一般1,100円、大学・高校生700円、中学生400円、小学生以下無料

入場者数: 45,607人

出展点数: 228件

出展作家: 95人および作者不詳

- | | | |
|------------|----------|--------------|
| 旭 正秀 | 伝 河鍋暁斎 | パートレット、チャールズ |
| 畦地梅太郎 | 河合卯之助 | ハイド、ヘレン |
| 石井柏亭 | 川上澄生 | 橋口五葉 |
| 石川寅治 | 川瀬巴水 | 橋本興家 |
| 石崎重利 | 川西 英 | 長谷川潔 |
| 石渡江逸 | 北岡文雄 | 初山 滋 |
| 伊東深水 | 桐月沙樹 | 馬場橋男 |
| 稲垣知雄 | 清輝 | 林保次郎 |
| 井上安治 | 木和村創爾郎 | 樋口銀太郎 |
| 岩見禮花 | 小林七席 | 平塚運一 |
| 歌川国周 | 小林清親 | 藤森静雄 |
| 歌川国政 | 小林敬生 | ボーマン、エマ |
| 歌川国安 | 斎藤 清 | 星 襄一 |
| 歌川国芳 | 笹島喜平 | 前川千帆 |
| 歌川貞秀 | 品川 工 | 馬淵 聖 |
| 歌川豊国(三代) | ジャクレ、ポール | 水船六洲 |
| 歌川広重(三代) | 翠栄堂半山 | 棟方志功 |
| 歌川房種 | 鈴木華邨 | 守 洞春 |
| 歌川芳艶 | 清宮質文 | 山中 現 |
| 江端芳市 | 清宮 彬 | 山村耕花 |
| 太田耕士 | 関野準一郎 | 湯浅克俊 |
| 尾形月耕 | 武内桂舟 | 由木 礼 |
| 岡田三郎助 | 竹久夢二 | 吉田亜世美 |
| 織田一磨 | 田嶋宏行 | 吉田千鶴子 |
| 織田観潮 | 田村彩天 | 吉田遠志 |
| オルリック、エミール | 塚本 哲 | 吉田 博 |
| 恩地孝四郎 | 月岡芳年 | 吉田穂高 |
| 風間サチコ | 鶴田吾郎 | 吉田政次 |
| 勝平得之 | 戸張孤雁 | 万鉄五郎 |
| 鏡木清方 | 永瀬義郎 | ラム、バーサ |
| カペラリー、フリッツ | 西澤笛畝 | 若山八十氏 |
| 柄澤 齊 | 野田哲也 | |

カタログ: 184頁

発行: 横浜美術館

編集: 横浜美術館

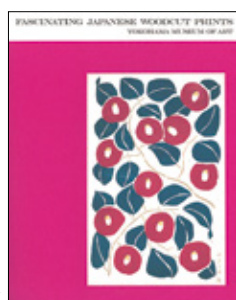
執筆: 沼田英子「横浜美術館コレクションにみる魅惑のニッポン木版画」
 太田雅子「木版画の新たな表現—本展出品の4人の現代作家について」



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物・カタログデザイン
 山下雅士(スリーブウォーク)

撮影: 加藤 健(p.10 ♡除く)



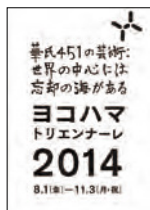
企画展2 ヨコハマトリエンナーレ2014「華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある」

本展は、2001年に第1回展が開催された横浜トリエンナーレの第5回展で、アーティストック・ディレクターに美術家の森村泰昌を迎え、「華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある」というテーマによって開催されました。展覧会は、主会場として横浜美術館と新港ピアの2会場から成り、2つの序章と11の挿話から構成され、各会場は、それぞれ以下のようなテーマが配されました。美術館屋外正面から序章：アンモニュメンタルなモニュメント、エントランスに序章：世界の中心にはなにがある？、そして各展示室には、順に、第1話：沈黙とささやきに耳をかたむける、第2話：漂流する教室にであう、第3話：華氏451はいかに芸術にあらわれたか、第4話：たった一人で世界と格闘する重労働、第5話：非人称の漂流～Still Moving、第6話：おそろべき子供たちの独り芝居、第7話：光にむかって消滅する、新港ピアには第10話：洪水のあと、最終章の第11話：忘却の海に漂う、が設定され、第8話：漂流を招き入れる旅、漂流を映しこむ海、が市内各所で開催されました。第9話：「華氏451」を奏でる、は事情により中止となりました。

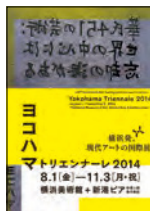
また、中高生や市民サポーターによるガイドも新たに編成し、学校連携の強化を図り、横浜トリエンナーレの次世代への広がりも実現出来ました。今回の横浜トリエンナーレは、東アジア文化都市2014横浜の特別事業にも位置付けられ、創造界隈拠点5拠点との連携も行い「まちにひろがるトリエンナーレ」にも寄与出来ました。



ポスター



チラシ



カタログ



広報印刷物・カタログデザイン アートディレクション 有山達也

Photo:

- 1.ヨコハマトリエンナーレ2014展示風景 撮影：加藤 健
- 2.Temporary Foundation《法と星座・Turn Coat/Turn Court》2014年 撮影：田中雄一郎
- 3.毛利悠子《アイ・オーある作曲家の部屋》2014年 撮影：毛利悠子
- 4.サイモン・スターリング《鷹の井戸(グレースケール)》2014年 撮影：田中雄一郎
- 5.三嶋安住+三嶋りつ恵《光りの港》 撮影：加藤 健

写真提供：横浜トリエンナーレ組織委員会

主催：横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

支援：文化庁(国際芸術フェスティバル支援事業)

特別協力：独立行政法人国際交流基金

後援：外務省、神奈川県、神奈川県新聞社、tvk(テレビ神奈川)、スペイン大使館、駐日韓国大使館、韓国文化院、中華人民共和国駐日本国大使館、Goethe-Institut Tokyo、東京ドイツ文化センター、ベルギー王国大使館

協賛：株式会社コロワイド、日本発条株式会社、三井不動産グループ、三菱地所グループ、森ビル株式会社、株式会社LIXIL、スターツコーポレーション株式会社、すてきなイスグループ株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社高島屋、横浜店、日産自動車株式会社、株式会社富士通エフサス、横浜銀行、アサヒビール株式会社、上野トランステック株式会社、東日本電信電話株式会社、株式会社大林組、川本工業株式会社、株式会社キタムラ、株式会社崎陽軒、株式会社サカタのタネ、株式会社資生堂、株式会社JTBコーポレートセールス、日本電気株式会社、原鉄道模型博物館、富士ゼロックス株式会社、横浜信用金庫、株式会社トロンマネージメント、ニコニコみどり二十一熱供給株式会社

助成：モンドリアン財団、公益財団法人ポーラ美術振興財団、アジア・カルチュラル・カウシル(ACC)、一般社団法人 東京倶楽部、グレートブリテン・ササカワ財団、フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本/アンステイチュ・フランセパリ本部、アメリカ合衆国大使館、プリティッシュ・カウシル、Institut für Auslandsbeziehungen e.V.、公益財団法人フランダースセンター、ACCIÓN CULTURAL ESPAÑOLA、AC/E Danish Arts Foundation、オランダ王国大使館

協力：NECディスプレイソリューションズ株式会社、住友ベークライト株式会社、吉大笨業工程有限公司、日本航空、カラーキネティクス・ジャパン株式会社、株式会社キクシマ、株式会社そごう・西武、そごう横浜店、横浜高速鉄道株式会社、横浜市交通局、株式会社ワコールアートセンター、ターナー色彩株式会社、山ノ写真製作所

寄付：日揮株式会社

認定：公益社団法人企業メセナ協議会

会期：平成26年8月1日(金)-11月3日(月・祝)

開場日数：89日

主会場：横浜美術館、新港ピア(新港心頭展示施設)

アーティストック・ディレクター：森村泰昌

観覧料：連携セット券＝一般2,400円、大学・専門学校生1,800円、高校生1,400円、中学生以下無料、単体券＝一般1,800円、大学・専門学校生1,200円、高校生800円、中学生以下無料

入場者数：132,908人(総入場者数：214,901人)

出展点数：444件(新港ピア会場含む)

出展作家：65組79作家(新港ピア会場含む)

- | | | |
|-------------------|----------------------|------------------|
| アデル、バス・ヤン | ザタリ、アクラム | ブロータース、マルセル |
| ウィルソン、イアン | 札幌国際芸術祭2014 | ベルメホ、カルメロ |
| ウォー、ヤン | 張 恩利 | ボエッティ、アリギエロ |
| ウォーホル、アンディ | シャボツニコフ、アリーナ | ボードレル、エリック |
| 大竹伸朗 | シュナイダー、グレゴール | マーティン、アグネス |
| 大谷芳久コレクション | スターリング、サイモン | マグリット、ルネ |
| 葛西絵里香 | スミス、ジョシュ | 松井智恵 |
| 笠原恵美子 | セルミンズ、ヴィヤ | 松澤 宥 |
| 釜ヶ崎芸術大学 | 高山 明 / Port B | 松本竣介 |
| ガルシア、ドラ | 土田ヒロミ | マレーヴィチ、カジミール |
| キーンホルツ、エドワード&ナンシー | デルボア、ヴィム | 三嶋安住+三嶋りつ恵 |
| キム、ヨンイク | Temporary Foundation | 村上友晴 |
| ギムボンソック | 殿敷 侃 | メンティエータ、アナ |
| 木村 浩 | トヨダヒトシ | 毛利悠子 |
| ケージ、ジョン | 中平卓馬 | Moe Nai Ko To Ba |
| ゲンツケン、イザ | 奈良原一高 | モティ、メルヴィン |
| コーネル、ジョセフ | バレルモ、プリンキー | モリエ、ピエール |
| ゴールドスタイン、ジャック | ハンセン、イライアス | やなぎみわ |
| ゴンザレス＝トレス、フェ | 日笠直彦 | 吉村益信 |
| リックス | 福岡アジア美術トリエンナーレ | ラコウィツ、マイケル |
| サイモン、タリン | 福岡道雄 | ランディ、マイケル |
| 坂上チユキ | ブラウン、スタンリー | 和田昌宏 |

カタログ：368頁

発行：株式会社平凡社

編集：横浜トリエンナーレ組織委員会、阿部謙一、隈 千夏

執筆：森村泰昌「忘却」をめぐる三つのエピソード」



企画展3 横浜美術館開館25周年 ホイッスラー展

ジェームズ・マクニール・ホイッスラー(1834-1903)の、日本では27年ぶりとなる回顧展を開催しました。ホイッスラーはアメリカ生まれ、ロンドンを主な拠点として活躍した、19世紀後半を代表する画家です。絵画の主題性を否定し、色と形の調和による視覚的な喜びを目指す唯美主義を主導したホイッスラーは、日本の浮世絵や工芸品からインスピレーションを得たジャポニズムの先駆的画家としても知られます。本展では、「人物画」「風景画」「ジャポニズム」の3章構成により、油彩画、版画、水彩、素描など133点に、遺品や靈感源となったと考えられる浮世絵などの参考作品、さらに、現存するホイッスラーの唯一の室内装飾《ピーコック・ルーム》の映像展示を加え、ホイッスラーの画業を通覧しました。「人物画」「風景画」の章では、これらのジャンルにおいて、ホイッスラーが青年期に出合ったリアリズムから次第に離れ、唯美主義のリーダーとして、限られた色彩の微妙な階調によって独自のスタイルを確立していく様を紹介しました。「ジャポニズム」の章では、ホイッスラーのジャポニズムが、画面に装飾的効果を持たせるための小道具として東洋的モチーフを描き込んでいた段階から、次第に日本美術の色彩や構図そのものへの関心を深め、《ノクターン：青と金色一オールド・バターシー・ブリッジ》に象徴されるオリジナリティを獲得していく様を探りました。

主催：横浜美術館、NHK、NHKプロモーション

協賛：あいおいニッセイ同和損保、テラ・アメリカ美術基金
日本写真印刷

協力：FMヨコハマ、神奈川新聞社、首都高速道路株式会社
日本航空、みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン

会期：平成26年12月6日(土)-平成27年3月1日(日)

開催日数：71日

観覧料：一般1,500円、大学・高校生1,100円、中学生600円
小学生以下無料

入場者数：103,669人

出展点数：133点、参考出品14点

出展作家：1人(関連作家4人)
ホイッスラー、ジェームズ・マクニール

歌川広重
魚屋北溪
鳥居清長
橋口五葉

巡回先：京都国立近代美術館 平成26年9月13日(土)-11月16日(日)

カタログ：280頁

編集・発行：NHK、NHKプロモーション

執筆：マーガレット・F.マクドナルド「ホイッスラー 油彩画・版画・素描の巨匠」
小野文子「ホイッスラーのジャポニズムとその広がり」
パトリシア・ド・モントフォールト「1890年代のホイッスラー展について：名声と報賞」
リー・グレーザー「アメリカにおけるホイッスラー」
パメラ・ロバートソン「格別の敬意：ホイッスラーとスコットランド」



ポスター



チラシ



カタログ



広報印刷物デザイン
有限会社ラム

カタログデザイン
美術出版社デザインセンター

撮影：加藤 健(p.14 ❖除く)



横浜美術館コレクション展 2014年度第1期 「ともだちアーティストⅡ」
特別展示：奈良美智《春少女》

コレクション展第1期は、前年度第3期に実施した「ともだちアーティスト」の展示作品中6割を入れ替え、「ともだちアーティストⅡ」のテーマで実施しました。いつの時代も、芸術家たちはお互いの作品に敬意を払い、さまざまに交流していました。それぞれの取組みに共感し合った者たちがグループをつくったり、故郷を遠く離れた土地で出会った作家同士が深い友情で結ばれたり、流派を超えて各地の作家たちと自由に接触し、つなぎ役となる作家もいました。危機的状況に共同で立ち向かい、助け合い、また時には批判し合い対立しながら、彼らは芸術という大きな営みを支え合っていました。

本展は、幕末の横浜に始まり、20世紀前半のヨーロッパとアメリカを周り、戦後の日本を経て、再び1920年代の欧米に至る流れを4つの展示室で展開しました。それぞれの場所と時代を共有した作家たちのまとまりを次の6つのセクションに仕立て、作品とあわせて、芸術と生活両面にわたる作家たちの交流を小型の解説パネルで紹介しました。

ともだちアーティストⅡ

- ① 横浜での出会い—写真家と画家
- ② 藤田嗣治とパリの作家たち
- ③ ヨーロッパとアメリカ、ダダとシュルレアリスムの作家たちを中心に
- ④ 戦後日本とアメリカ、具体とネオダダ
- ⑤ 「ハマ展」の仲間たち
- ⑥ 『毛の生えた心臓の夕べ』と同時代のヨーロッパとアメリカの写真

[特別展示] 奈良美智《春少女》

イサム・ノグチと20世紀の彫刻

会 期：平成26年3月1日(土)-5月25日(日)

開催日数：74日

入場者数：47,833人

出展点数：307件

出展作家：116人および撮影者不詳

浅生田光司	ダリ、サルバドール
アジェ、ウジェーヌ	タンギー、イヴ
アボット、ベレニス	テ・キリコ、ジョルジオ
荒川修作	ディックス、オットー
アルプ、ハンス(ジャン)	常盤とよ子
安藤不二夫	土門 拳
伊藤 憲	中島清之
井上信道	中島多茂都
岩田栄之助	長宗希佳
ウェストン、エドワード	中村好宏
ヴォルス	ナムス、ハンス
ウンボ	奈良美智
エヴァンズ、ウオーカー	ニューマン、アーノルド
江見絹子	ノグチ、イサム
エリュアール、ポール	伝 ハイネ、ペーター・B・W
エルンスト、マックス	ハウスマン、ラウル
遠藤典太	浜口タカシ
岡鹿之助	ピカソ、パブロ
岡田三郎助	ピゴ、ジョルジュ=フェルティナン
奥村泰宏	兵藤和男
オッペンハイム、メレット	ファイニンガー、T. ルクス
オルデンバーグ、クレス	ファルサーリ、アドルフ
カーシュ、ユーサフ	フォルテンベルグ=ギルデヴァルト、
片岡球子	フリードリヒ
カルティエ=ブレッソン、アンリ	フォン・シュティルフリート、ライムント
川村信雄	藤田嗣治
木村伊兵衛	ブラウン・ジュニア、エリファレット
国吉康雄	ブラッサイ
クレー、パウル	ブランクーシ、コンスタンティン
クロチエッティ、ヴェナンツォ	ベアト、アントニオ
ケルテス、アンドレ	ベアト、フェリーチェ
コーネル、ジョゼフ	ベルメール、ハンス
小島一谿	ホワイト、クラレンス・H
伝・五姓田芳柳	マグリット、ルネ
五姓田義松	松島一郎
ゴンサレス、ジュリオ	マッソン、アンドレ
佐伯祐三	マン・レイ
ザツキン、オシツプ	マンツ、ヴェルナー
里見勝蔵	ミロ、ジョアン
シーモア、デヴィッド	元永定正
シーラー、チャールズ	モホリ=ナジ、ラースロー
篠原有司男	森 兵五
志村計介	山崎秀夫
シュヴィッターズ、クルト	山中春雄
シュミット、ヨースト	湯原和夫
ジョーンズ、ジャスパー	吉村益信
スタイケン、エドワード	ラウシェンバーグ、ロバート
ステーグリッツ、アルフレッド	ラム、ヴィフレド
ストランド、ポール	リヒター、ハンス
高橋由一	レンガー=パッチュ、アルベルト
高間惣七	ロー、フランツ
田澤 茂	ローランサン、マリー
田代利夫	ワーグマン、チャールズ
田中敦子	渡辺文三郎
田辺謙輔	渡辺幽香



横浜美術館コレクション展 2014年度第2期 「抽象画—戦後から現代」 「光と影—都市との対話」

コレクション展第2期は、以下の2つのテーマで展示しました。

「抽象画—戦後から現代」では、山口長男、斎藤義重、元永定正、白髪一雄、嶋田しづ、などの画家から、辰野登恵子、中村一美ら1950年代生まれの画家たちまでの多彩な作品で、日本の戦後から現代に至る抽象画を辿りました。

「光と影—都市との対話」は、同時期開催のホイットスラー展に因むテーマです。都市景観や都市生活における光や影を敏感に捉えた作品や、見る者に光の在り方を意識させる作品に着目し、「風景になる都市、その光と影」「西洋の作家の作品に見る光の表現」「満ちる光、光と影」の3セクションで、幕末に西洋画を学んで画面に明るい光を採り入れた高橋由一《愛宕山より品川沖を望む》、文明開化が生み出した都市景観を光と影によって効果的に捉えた小林清親の版画群、清水登之《ヨコハマ・ナイト》から奈良美智《春少女》まで多彩な表現を紹介しました。

写真展示室は「光と闇—現代の都市風景」と題して、金村修、磯田智子、米田知子、平川典俊の4作家作品を展示し、ホワイエではイサム・ノグチの6作品を、またグランドギャラリーでは、コンスタンティン・ブランクーシ《空間の鳥》をはじめとする近現代彫刻作品を展示しました。

抽象画—戦後から現代

光と影—都市との対話

- ① 風景になる都市、その光と影
- ② 西洋の作家の作品に見る光の表現
- ③ 満ちる光、光と影
- ④ 光と闇—現代の都市風景

イサム・ノグチと近代彫刻

会 期：平成26年12月6日(土) - 平成27年3月1日(日)

開催日数：71日

入場者数：105,658人

出展点数：196件

出展作家：76人

赤地友哉
荒川修作
アルプ、ハンス(ジャン)
磯田智子
井上安治
今井俊満
エルンスト、マックス
遠藤彰子
岡田謙三
奥山民枝
小倉柳村
オノサト・トシノブ
オルテンバーグ、クレス
金村 修
カリエール、ウジェーヌ
川瀬巴水
川端 実
北 久美子
北岡文雄
クナツパー、ゲルト
クローゼン、ジョージ
黒田茂樹
國領経郎
小西真奈
小林清親
斎藤義重
ザツキン、オシツブ
佐藤 敬
佐野ぬい
嶋田しづ
清水登之
白髪一雄
菅井 汲
清宮質文
高橋由一
高間惣七
辰野登恵子
田中敦子

ダリ、サルバドール
タンギー、イヴ
テ・キリコ、ジョルジオ
テルヴォー、ポール
ドニ、モーリス
ドミンゲス、オスカル
中上 清
中島清之
中西夏之
中村一美
奈良美智
難波田龍起
ノグチ、イサム
野田英夫
長谷川 潔
ハミルトン、リチャード
平川典俊
ブランクーシ、コンスタンティン
ペアト、フェリーチェ
ボーマン、エマ
ホックニー、デヴィッド
マグリット、ルネ
マツソン、アンドレ
マツタ、ロベルト
緑川洋一
ミロ、ジョアン
メンペス、モーティマー
元永定正
モロー、ギユスターヴ
安田 悠
山口長男
山田正亮
山村耕花
湯原和夫
米田知子
ラウシェンバーグ、ロバート
ルドン、オティロン
渡辺幽香



1



2 3



4 5 ❖



コレクション展の海外巡回 シンガポール美術館における横浜美術館所蔵作品展 「イメージ・アンド・イリュージョン」展

横浜美術館とシンガポール美術館 (SAM) は、横浜美術館が所蔵するビデオ・インスタレーション作品による展覧会を、シンガポール美術館分館 (SAM at 8Q) にて2014年10月3日より翌年2月8日まで開催しました。本展は、横浜美術館で2013年に開催された、シンガポール美術館の所蔵作品による展覧会「Welcome to the Jungle 熱々! 東南アジアの現代美術」展の交換展として実施されたもので、両館学芸員が企画しました。「イメージ・アンド・イリュージョン」(イメージと幻影)のタイトルの下に、現代美術における重要な表現媒体である映像に焦点を絞り、日本、台北、米国出身の5作家による作品8点で構成しました。彼らはいずれも単に映像を作るだけの作家ではなく、ある者は幅広い表現活動のひとつとして映像に取り組み、またある者は、重層的な制作プロセスの中に映像を取り入れています。

これらの作家たちは、横浜美術館における近年の現代美術関連事業で重要な位置を占めてきました。石田尚志の作品は横浜美術館における4か月間の滞在制作の成果で、2007年に横浜美術館で開催された「水の情景」展で発表されました。高嶺格の作品も同じく「水の情景」展に出品されたものです。八木良太、蔡佳葳、ピーター・コフィン の作品はヨコハマトリエンナーレ2011において展示されたものです。

作品はシンガポール美術館と横浜美術館の学芸員が選んだもので、シンガポール美術館の分館 (SAM at 8Q) の4階フロアー、約300平米を用い、横浜より担当学芸員が出張し、シンガポール美術館との共同作業により、従来の横浜での展示を上回る規模で設置されました。また、本展カタログ(英文)も両館学芸員が執筆しました。

なお、この展覧会はシンガポール美術館の写真とニューメディアを合わせた総合展示プログラム、「Still Moving: A Triple Bill On The Image」(スティル・ムーヴィング: イメージをめぐる3つの覚書)のひとつとして開催されました。

横浜美術館にとって、本展はコレクションの価値を内外に発信する事業の一環であり、当館コレクションを展覧会として海外に貸し出す初の試みとなりました。わけても発展著しいシンガポールの地で、先進的なシンガポール美術館との交換展として本展が開催されたことには大きな意義があります。

カタログデザイン:
Qu'est-ce Que C'est Design

Photo:

1. 石田尚志《海の壁—生成する庭》(2007年) 展示風景
2. 蔡佳葳《洗礼》(2009年) 展示風景
3. 高嶺 格《水位と体内音》(2004年) 展示風景
4. 八木良太
《ポルタメント No.2(ヴァイオリン)》展示風景
(2006/2011年)
《ポルタメント No.2(ホームメイ)》展示風景
(2006/2011年)
《ポルタメント No.2(シンセサイザー)》展示風景
(2006/2011年)
5. SAM at 8Q 外観

撮影: 中村尚明(p.20 ❖除く)

カタログ



展覧会名: Image & Illusion: Video Works from the Yokohama Museum of Art
「イメージ・アンド・イリュージョン: 横浜美術館所蔵 ビデオ・インスタレーション作品」展

会場: Singapore Art Museum at 8Q (SAM at 8Q), Level 4
8 Queen Street, Singapore
シンガポール美術館クィーンズストリート8番地分館4階(サム・アット・エイトキュー)

会期: 平成26年10月3日(金) - 平成27年2月8日(日)

入場者数: 64,721人("Still Moving: A Triple Bill On The Image")

出展点数: 8点

出展作家: 5人
石田尚志
コフィン、ピーター
高嶺 格
蔡 佳葳
八木良太

カタログ: 54頁

編集・発行: Singapore Art Museum

執筆: Dr Susie Lingham "Director's Foreword"

Eriko Osaka "Foreword"

Michelle Ho "Image-making: The Realities of the Invisible and the Impermanent"

Naoaki Nakamura "Artworks as Interface"



New Artist Picks 田中望展「潮つ路」

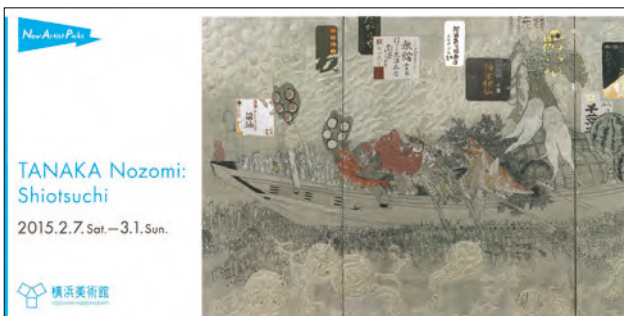
横浜美術館では、これまで将来活躍が期待される若手作家に発表の場を提供するプロジェクトを実施してきました。2014年度からはNew Artist Picks(NAP)と名称を改め、年に一度、アートギャラリーなどを会場に展覧会を開催します。

新たなスタートとなった今回は、山形や秋田など東北各地に伝わる文化や信仰に取材し、それをもとに絵画作品を制作する田中望の作品をご紹介します。港町である横浜での発表にあわせ、山形県鶴岡市に伝わる船をモチーフにした作品《大宝市》や、鯨船の群像による新作インスタレーション《潮つ路》をアートギャラリー1で展示しました。また田中が手掛けた、飛鳥(山形県酒田市)に伝わる昔話をまとめた絵本の原画を、Café小倉山に展示しました。

会期前より、作家のインタビュー映像を横浜美術館ウェブサイトや館内各所で公開し、さらに会期中にはアーティストトークを通じて、作家に制作の背景や作品に込めた思いを直接話してもらい、まだ知られていない若手作家の生の声を、多くの方々に発信する機会を設けました。

また、本展出品作が第6回日経日本画大賞に入選しました。

主催: 横浜美術館
会場: アートギャラリー1、Café小倉山
協力: Café小倉山、アートフロントギャラリー、東北芸術工科大学
特別協力: 鶴岡山王商店街
会期: 平成27年2月7日(土)-3月1日(日)
開催日数: 20日
観覧料: 無料
入場者数: 8,086人
出展点数: 3件
出展作家: 1人
 田中 望



DM



リーフレット

広報印刷物デザイン
 阿部太一(GOKIGEN)

撮影: 菅谷守良 (❖)
 加藤 健 (❖)

調査研究・普及活動(個人)

紀要

横浜美術館研究紀要

第16号、2015年

88頁

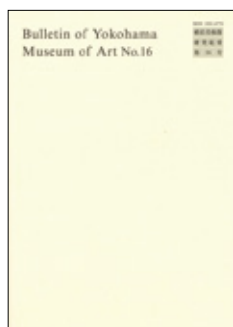
発行日:平成27年3月31日

発行部数:500部

掲載論文:

- ① 石渡庄一郎(江逸) 研究:
新収蔵の作品資料を中心に
執筆者:片多祐子
- ② 横浜美術館美術情報センターに
おける「資料展示」について
執筆者:興津美由紀、谷口和歌子
- ③ [資料紹介] 下村観山画房日記『や
まの上』 執筆者:柏木智雄

*10月ウェブサイトリニューアルに伴い、紀要論文タイトルをウェブサイト
で公開。



収蔵品目録

2013年(平成25年度)収蔵品目録

8頁

発行日:平成27年3月31日

発行部数:500部

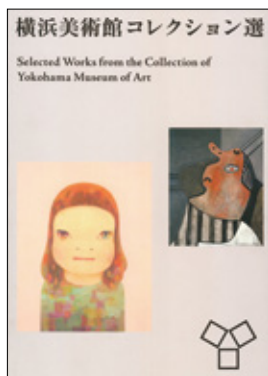


横浜美術館コレクション選

223頁

発行日:平成26年4月25日

発行部数:4,000部



普及活動(個人)

◎執筆・寄稿

逢坂恵理子

- ・「横浜トリエンナーレの歩みと横浜美術館」『TFAM bi-Monthly magazine』、Taipei Fine Arts Museum、2014年
- ・「横浜美術館と横浜トリエンナーレ」『国立新美術館 紀要2013』、国立新美術館、2014年

柏木智雄

- ・「第6回 東山魁夷記念 日経日本画大賞の推薦文」日本経済新聞社、2014年2月
- ・富坂賢・柏木智雄・岡塚章子編著『通天楼日記 横山松三郎と明治初期の写真・洋画・印刷』、思文閣出版、2014年
- ・「美術館だより 横浜美術館」『學士會会報』、学士会、2014年9月

天野太郎

- ・「石川竜一のスナップ写真について」『石川竜一写真集 絶景のポリフォニー』、赤々舎、2014年
- ・「『漂泊界 丸山純子展』に寄せて」『漂泊界 丸山純子展』図録、下山美術の森発電所美術館、2014年
- ・「日本のベスト美術館と世界の最新ミュージアム」『Casa BRUTUS No.176』、マガジンハウス、2014年
- ・「杉山留美子の絵画世界」『杉山留美子展 光の絵画へ』図録、杉山留美子基金、2014年
- ・「平成27年日本写真協会賞表彰候補者の推薦文」日本写真協会、2015年予定

沼田英子

- ・「世界に開かれた美術館を目指して」『神奈川県博物館協会創立60周年記念ハンドブック』、神奈川県博物館協会、2015年
- ・“Whistler and the Collector Kojima Usui” The Ten O'clock James McNeill Whistler and his art world, Whistler Society Journal No.1, 2015

山崎 優

- ・「絵画にふれる一横浜美術館・子どものアトリエの活動を通して」『子どもの文化11月号』2014年
- ・「親子で芸術しよう!」『あんふあん2014年12月号』取材・監修、サンケイリビング新聞社

中村尚明

- ・「美術分野 彫刻」校訂と執筆『広辞苑第七版』、岩波書店、2015年予定
- ・「富士ゼロックス版画コレクションにみる20世紀前半の西洋版画:ハノーファー・コネクションを中心に」『複製技術時代』の芸術家の役割をめぐって」『Fuji Xerox Print Collection 1988-2014』、富士ゼロックス、2015年

内山淳子

- ・「植物が登場するアートたち」『小笠原流挿花』、小笠原流、2015年1月

岡崎智美

- ・“Das Kinder-Atelier(Children's Workshop) im Yokohama Museum of Art”, Standbein Spielbein. Museumspädagogik aktuell No.100 “Inklusion”, Bundesverband Museumspädagogik e.V., 2014年12月
- ・岡崎智美、梅田亜由美共著「第7章 多様な『見たい』をカタチにする『みんなの美術館プロジェクト』」『インクルーシブデザイン 社会の課題を

解決する参加型デザイン』、学芸出版社、2014年4月

木村絵理子

- ・「評論家・ジャーナリスト・学芸員が選ぶ新人『期待の若手アーティスト 毛利悠子』」『アートコレクターズ』、生活の友社、2014年6月号
- ・「Monuments Made of Images—What the Woodcuts of Muhamad “Ucup” Yusuf Signify」『Muhamad “Ucup” Yusuf: Behind New World Order』図録、小山登美夫ギャラリー、2014年
- ・「川久保ジョイ作家推薦文」『現代美術の展望 VOCA展2015』図録、2015年
- ・「TWS Emerging 2014 Vol.5: 青木真莉子、伊藤大朗、ユアサエボシ」作家講評文、トーキョーワンダーサイト、2015年
- ・「あぶり出された中国の現実—第10回上海ビエンナーレの挑戦」『BT/美術手帖』、美術出版社、2015年4月号
- ・「国際展では今何が求められているのか?—アジアでの国際展に見る作家たち、現地で深く切り込む作家たち—」『アートコレクターズ』、生活の友社、2015年3月号

太田雅子

- ・「興味深い版画作品を制作する、2016年2月（展覧会開催）時点で50歳未満の、日本在住の作家1名の推薦文」『第2回 PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ2016』図録、PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ2016事務局、2016年予定

◎発表・講演会・シンポジウム

逢坂恵理子

- ・講演会「自分を拓く美術—横浜美術館の試み」千代田化工建設、5月20日
- ・講演会「アートはなぜ社会に必要か？」武蔵野美術大学、6月27日
- ・講演会「もっと楽しむ 美術館と横浜トリエンナーレ」学習院不動産桜友会主催、日比谷園、8月6日
- ・シンポジウム・パネリスト「ヨコハマトリエンナーレ2014 国際展で考える 現代アートと世界／地域との関係」『ヨコハマトリエンナーレと世界との関係』横浜美術館、9月14日
- ・セミナー「ヨコハマトリエンナーレと世界の国際展」、JENESYS2.0 中国大学生訪日団第14陣、横浜美術館、9月20日
- ・レクチャー「創造都市・横浜から世界への発信をめざして—横浜美術館の試み」横浜市 観光・創造都市・国際戦略特別委員会、横浜美術館、9月24日
- ・講演会「今日の作家展をめぐって」『開館記念展 横浜市民ギャラリー クロニクル 1964-2014』横浜市民ギャラリー、10月18日
- ・基調講演「拡張する国際芸術祭—現代美術の可能性を読み解く」『文化の力・東京会議2014』東京都、東京文化発信プロジェクト室主催、都庁都民ホール、11月7日
- ・講義「変化する美術館と国際展」青山学院大学総合文化政策学部アートデザイン概論、青山学院大学、11月25日
- ・レクチャー「横浜トリエンナーレと国際現代美術祭」『文化のプラットフォームとしての日本』議員連盟主催、参議院、2月24日
- ・講演会「拡張する美術館活動とマネジメント」『フォーラム「21世紀ミュージアム・サミット」』かながわ国際交流財団主催、横浜美術館、3月14日

天野太郎

- ・対談「美は近くにありて思ふもの」『ウェブマガジン NEOL』STOP NEOL 編集部主催、横浜美術館、7月30日
- ・講評「トーキョーワンダーサイトレジデンス滞在クリエイターについて」トーキョーワンダーサイト、11月30日
- ・オープニング・トーク&ディスカッション「アートとしての写真と映像」『もうひとつの眺め（サイト）—北海道発：8人の写真と映像展関連事業』北海道立近代美術館、1月31日

・パネルディスカッション『OPEN SHOW CP+ 2015』フォト・ヨコハマ実行委員会主催、横浜美術館、2月14日

沼田英子

- ・シンポジウム・講演・パネリスト「知っておきたい博物館の話 博物館の未来をさぐる—その機能と手法—」『神奈川県博物館協会創立60周年記念第2回シンポジウム』神奈川県博物館協会、9月28日

八柳サエ

- ・講演会「ワーグマンに入門した狩野派絵師・狩野友信について」横浜文藝懇話会、5月21日
- ・座談会『東海道五十三次合作絵巻〜“日本画”を創った巨匠たちの旅立ち〜』（NHK番組）、NHK エデュケーショナル特集文化部、1月12日

内山淳子

- ・講演会「ホイッスラー 人と作品—展覧会へのいざない」板橋区立文化会館、1月21日
- ・講演会「ホイッスラー 人と作品—展覧会へのいざない」砂町文化センター、2月6日

木村絵理子

- ・講演会「ヨコハマトリエンナーレ2014」あざみ野カレッジ、8月23日
- ・講演会「『100人先生』（BankART Life4 “東アジアの夢”）プロジェクト」開発好明、8月27日
- ・講演会「これからどうなる？国際展 ~ヨコハマトリエンナーレ2014徹底解剖」1st Saturday Salon、9月6日
- ・講演会「ヨコハマトリエンナーレ2014 ~マイケル・ランディ《アート・ピン》」御茶ノ水美術専門学校、9月26日
- ・講演会「TERA English」東京文化発信プロジェクト室、Ongoing、2015年2月
- ・公開講座「美術館を楽しむ」早稲田大学エクステンションセンター、2月5日
- ・「国際発信力のある現代美術のキュレーター育成のための状況等に係る調査事業」公開意見交換会、文化庁、3月21日

端山聡子

- ・シンポジウム・招聘者「アーカイブサミット2015」アーカイブサミット組織委員会、1月26日
- ・シンポジウム・発表者・パネリスト「アーティストとの関わりは私たちに何をもたらすのか—“経験する”現場からの検証」国立新美術館、3月15日
- ・シンポジウム・登壇者「ヨコハマトリエンナーレ2014 サポーター活動報告シンポジウム『協働の地平』」ヨコハマ創造都市センター、12月21日

◎非常勤講師等

柏木智雄

- ・京都造形芸術大学通信教育部和の伝統文化コース「伝統文化研究Ⅰ-3（東京／幕末・明治期の日本の絵画）」9月27日、28日

天野太郎

- ・多摩美術大学「美術館論、鑑賞論」後期、9月4日-1月19日
- ・女子美術大学「技法史」前期 4月17日-5月1日
- ・国士館大学「アーツ・アドミニストレーション」秋期集中 2月5日-7日
- ・東京工芸大学芸術学部基礎教育学科「現代文化論」10月17日
- ・城西国際大学「コンテンポラリーアート論」後期集中 2月23日-26日
- ・地域創造「アートミュージアムラボ」1月28日、30日

山崎 優

- ・平成26年度神奈川県公立幼稚園新規採用教員研修講座「幼児の表現活動のあり方」5月14日
- ・町田福祉保育専門学校研修会「横浜美術館における素材に関わる活動を通した理論と実践」6月17日
- ・平成26年度磯子区保育士会研修会「保育の中の造形あそび」6月28日
- ・横浜市幼稚園協会・金沢支部研究部 平成26年度第2回全体研修会実技研修「子どもの心を豊かにするアトリエ活動」7月2日
- ・横浜市教育委員会・横浜市小学校区画工作教育研究会 第66回夏季実技研修会「造形・美術体験ワークショップ」7月28日、29日
- ・神奈川県私立幼稚園連合会 平成26年度中堅教諭を対象とした絵画・造形に関する実技研修 7月30日
- ・横浜市児童相談所一時保護系学習担当者実技研修会 9月9日
- ・横浜市特別支援学校校長会・横浜市特別支援教育研究会 第2回造形教育実技研修会「特別支援教育における造形・美術体験ワークショップ」12月6日

木村絵理子

- ・共立女子大学「博物館学概論」後期9月21日-3月20日

端山聡子

- ・多摩美術大学「美術普及概論、ワークショップ論、PBLⅡ-24」通年4月9日-1月19日
- ・早稲田大学文学部「博物館教育論(学芸員夏季)」夏季集中 8月5日-8日
- ・第62回全国博物館大会 分科会3「博物館資料をめぐる課題」11月20日
- ・福井県立こども歴史文化館研修会「常設展・特集展示のゲーミフィケーション(参加体験型ゲーム)の運営」「年間ワークショップの運営」11月30日

岡崎智美

- ・東京家政大学人文学部教育福祉学科「博物館教育論」7月12日

坂本恭子

- ・京都造形芸術大学通信教育部博物館学芸員資格課程「博物館実習3(事後指導) b」11月23日

◎委員・審査員等

逢坂恵理子

- ・文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業協力者会議委員
- ・文化庁現代美術の海外発信に関する検討会委員
- ・東京国立近代美術館評議員(美術・工芸部会)
- ・国立西洋美術館評議員
- ・芸術文化振興基金美術専門委員
- ・島根県芸術文化センター協議会委員
- ・沖縄県立博物館・美術館中長期計画策定調査委員会委員
- ・美術館・博物館ネットワーク化に向けた意見交換会出席
- ・東京都現代美術館美術資料収蔵委員会委員
- ・神奈川県立県民ホール指定管理者外部評価委員
- ・横浜文化賞選考委員会委員
- ・金沢21世紀美術館 美術館美術品収集委員
- ・第26回UBEピエンナーレ選考委員
- ・熊本市美術品等収集審査委員会委員
- ・第10回ヒロシマ賞受賞者選考審議会委員
- ・高松宮殿下記念世界文化賞アジア委員会推薦委員(絵画/彫刻部門)
- ・鹿島美術財団理事
- ・京都服飾文化研究財団評議員
- ・第30回京都賞思想・芸術部門審査委員会委員
- ・アジアン・カルチュラル・カウンシル50周年募金実行委員会委員
- ・International Biennale Association設立準備委員会理事

柏木智雄

- ・平成26年度東京国立近代美術館美術作品修理業務企画審査委員
- ・横須賀美術館運営評価委員会委員

天野太郎

- ・文化庁次代の文化を創造する新進芸術家育成事業協力者会議委員(その他部門)
- ・第10回大黒屋現代アート公募展審査委員
- ・東京都現代美術館美術資料収蔵委員会委員
- ・トーキョーワンダーサイト外部評価委員
- ・横浜アートコンペティション2015審査員
- ・金沢美術工芸大学大学院修士課程修了制作展 講評会における作品講評
- ・KANABIクリエイティブ賞卒業・修了制作部門審査員
- ・東京国立近代美術館美術作品購入等選考委員会委員

沼田英子

- ・第59回CWAJ現代版画展審査員

松永真太郎

- ・東京都写真美術館作品資料収蔵委員会委員

普川由貴子

- ・九州国立博物館ミュージアムショップ運営事業選定委員

美術情報センターの活動



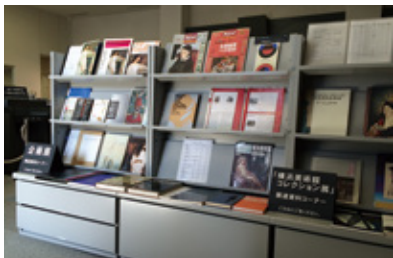
閲覧室



開架書架



ケース内展示資料



資料コーナー



当館展覧会カタログ



利用者用端末

美術情報センターは、美術に関する図書資料、映像資料等を収集、整理、保存、し、市民や研究者の利用に供することを目的としています。

開室時間：10:00～18:00(入室および各種利用受付17:30まで)

* 年末年始及び特別整理期間は休室

収集・整理・保存

収集実績

	購入	寄贈	合計
和書	2冊	532冊	534冊
洋書	21冊	110冊	131冊
和カタログ	0冊	1,510冊	1,510冊
洋カタログ	0冊	317冊	317冊
蔵書総数			2,492冊

逐次刊行物 2,917タイトル

データベース入力件数

4,264件

特別整理期間

期間：6月30日(月)-7月10日(木)

冊数：開架資料20,660冊の点検

サービス

◎資料展示

展覧会に関連した資料コーナー

木版画展	23冊
ヨコハマトリエンナーレ2014	55冊
ホイッスラー展	17冊
コレクション展第1期	14冊
第2期	18冊

特設資料コーナー

福田美蘭・米田知子 5月8日-7月31日	16冊
石内 都・濱谷 浩・杉本博司 11月7日-12月3日	18冊

特別展示関連資料コーナー

ヨコハマトリエンナーレ2014関連特別展示 「焚書」-禁じられた書物と文化財- 8月1日-11月30日	34冊
ホイッスラー展関連資料特別展示 同時代資料に見るホイッスラー像 -『パンチ』を中心に- 12月6日-3月25日	27冊

◎ケース内資料展示

工夫を凝らした美術展カタログ	4月1日-7月30日	8点
ヨコハマトリエンナーレ2014関連特別展示 「焚書」-禁じられた書物と文化財-	前期：8月1日-9月30日 後期：10月1日-11月30日	10点 17点(前期後期共通資料6点) 前期・後期合計 全21点
ホイッスラー展関連資料特別展示 同時代資料に見るホイッスラー像 -『パンチ』を中心に-	12月6日-3月25日	15点

利用状況

開室日数	308日
利用者数	16,879人
レファレンス	996件
開架資料利用	2,481冊
コピー利用	659件
ビデオ利用	132件

市民を対象とした探検ツアー (バックヤードツアー)

開催日時：3月22日(日)

参加人数：8人

イメージフォーラム・フェスティバル 2014

映像表現の最先端を紹介する国内最大級の映像アートの祭典での収蔵作品上映

日時：6月27日(金)-6月29日(日)

会場：レクチャーホール

参加人数：53人,105人,63人

教育普及事業

概要

横浜美術館の教育普及活動は、開館以来実績を積み上げてきた造形プログラムと、鑑賞プログラムを組み合わせ、特色ある事業を展開しています。また、学校教育や環境啓発など、地域や社会と連携した新しい取組みも積極的に行っています。

造形プログラムは、「子どものアトリエ」と「市民のアトリエ」で展開しています。

子どものアトリエは、「プレイルーム」「クラフトルーム」「光と音のスタジオ」において、平日には幼稚園・保育園、小学校など教育機関が造形および鑑賞の活動を行う「学校のためのプログラム」、日曜日や夏休みなどには個人を対象とした「親子のフリーゾーン」「造形講座」を開催しています。「自分の目で見て、自分の手で触れ、自分でやってみる」ことを造形美術の基本と考え、遊びを通したさまざまな造形体験を子どもたちに提供しています。また春期と夏期に「教師のためのワークショップ」を開催するほか、さまざまなテーマでの教師への研修事業を実施しています。

市民のアトリエでは、12歳以上を対象に年間を通じ、多彩な実技講座を企画・開催するなど、市民と作家、市民と市民が「つくる」ことを通して美術に出会う場を提供します。

講座は「平面室」「立体室」「版画室」の各室で行われます。平面室は、絵画制作を中心に、さまざまな表現による作品制作を行うスペースです。立体室には、陶芸・彫塑をはじめ、各種の立体制作を行う設備が揃っています。版画室では、銅版画・リトグラフ・シルクスクリーン・木版の各版種を本格的に制作することができます。

鑑賞プログラムは、コレクション展・企画展の内容にあわせて、ギャラリートークやボランティアによる活動などを企画・実施し、来館者の鑑賞をサポートしています。また、中学生、高校生の年代を対象にした個人向けプログラム、学校向けプログラムをはじめ、子ども・障がい者・高齢者・外国人など、「様々な人に開かれた美術館」を目指しています。

平成26年度の総括

子どものアトリエの学校プログラム、個人向けプログラム、市民のアトリエの講座、オープンスタジオなどを実施し継続的な成果を上げた一方、横浜美術館を主会場とする2回目の横浜トリエンナーレの開催が今年度の教育普及活動をさらに発展させました。教育プロジェクトチームは、横浜美術館ボランティア、横浜トリエンナーレサポーターの育成にあたり、団体向け事前ガイダンス、ギャラリートツアー、作品前解説の実施に横浜トリエンナーレ組織委員会、横浜トリエンナーレサポーター事務局と協働して取り組みました。また、森村泰昌アーティストック・ディレクターの発案による小中高生のためのプログラム「夏の教室①中高生のためのヨコトリ教室、②ヨコトリ号こども探検隊」を実施し、さらに、7校の中学校にアーティストを派遣しヨコハマトリエンナーレ2014の魅力を伝え来場に繋げました。

子どものアトリエで実施した中学校の美術部を対象とした、「夏休み子どもフェスタアートクラブツアー」、市民のアトリエで実施した作家との出会いや市民自ら制作を体験するワークショップの開催などを含めヨコハマトリエンナーレ2014での教育活動は次回展につながる新たな一歩を踏み出しました。

企画展

◎木版画展

記念講演会

日時：3月29日(土) 14:00~15:30

講師：中林忠良(東京藝術大学名誉教授/銅版画家)

タイトル：「わたしたちの木版画」

会場：レクチャーホール

参加人数：160人

* 横浜美術館開館25周年西区制70周年記念 無料観覧日

アーティストトーク

日時：(各土曜) 3月22日, 4月19日

5月10・17日 14:00~14:30

講師：湯浅克俊, 吉田亜世美, 風間サチコ
桐月沙樹

会場：展示室

参加人数：50人, 85人, 60人, 80人

ギャラリートーク

日時：(各金曜) 3月28日, 4月25日, 5月23日
15:00~15:30

担当：太田雅子, 松永真太郎, 沼田英子

会場：展示室

参加人数：16人, 30人, 50人

夜の美術館でアートクルーズ

日時：3月15日(土), 4月16日(水)

19:00~21:00

担当：太田雅子

会場：展示室

参加費：3,000円

参加人数：39人, 36人(うち、かもめスクール5人)

展覧会・ココがみどころ

ボランティアによる個人向けガイド

日時：木版画展会期中の日曜日

各日11:00~11:15, 14:00~14:15

全26回

会場：グランドギャラリー

参加人数：704人

学芸員による団体向けレクチャー

日時：木版画展会期中 全6回

会場：美術館内各所

参加人数：474人

子どもの日スペシャル 創作&鑑賞ワークショップ「木版画を摺ってみよう！」

日時：5月5日(月祝)

10:30~11:15, 11:30~12:15

13:30~14:15, 14:30~15:15

担当：教育普及グループ, 学芸グループ展覧会担当

会場：グランドギャラリー

参加人数：89人

学校の先生・保護者向け鑑賞シート

配布期間：展覧会ウェブサイト掲載期間

発行部数：展覧会ウェブサイトよりダウンロード(当該ページアクセス数：1,832件)

* およこの鑑賞優待つきチラシ：発行部数66,000部、横浜市内小学校342校の4,5年生に配布、利用者74人

◎ヨコハマトリエンナーレ2014

夜の美術館でアートクルーズ

日時：9月3日(水)・27日(土) 19:00~21:00

担当：木村絵理子, 天野太郎

会場：展示室

参加費：4,000円

参加人数：35人, 35人

アーティスト・プロジェクト

Temporary Foundation「横浜トライアル」

第5話 非人称の漂流~Still Moving

●CASE-1「非人称の光」

日時：8月6日(水) 15:00~17:00

進行：高橋 悟(京都市立芸術大学教授)

出演：建島 哲(京都市立芸術大学学長)

加治屋健司(京都市立芸術大学芸術資源研究センター准教授)

会場：赤い法廷(横浜美術館・Temporary Foundation 展示室内)

参加人数：34人

●CASE-2「自由意志は存在するか」

日時：9月11日(木) 15:00~17:00

進行：高橋 悟(京都市立芸術大学教授)

出演：下條信輔(カリフォルニア工科大学心理学教授)

会場：赤い法廷(横浜美術館・Temporary Foundation 展示室内)

参加人数：31人

●CASE-3「Still Moving : 漂流」

日時：10月5日(日) 15:00~17:00

進行：高橋 悟(京都市立芸術大学教授)

出演：河本信治(京都国際現代芸術祭2015芸術監督)

森村泰昌(本展アーティストック・ディレクター)

会場：赤い法廷(横浜美術館・Temporary Foundation 展示室内)

参加人数：30人

●CASE-4「犬の9条」

日時：10月17日(金) 15:00~17:00

進行：高橋 悟(京都市立芸術大学教授)

出演：仲正昌樹(金沢大学法学類教授)

会場：赤い法廷(横浜美術館・Temporary Foundation 展示室内)

参加人数：31人



木版画展 アーティストトーク



木版画展 子どもの日スペシャル



ヨコハマトリエンナーレ2014 夏の教室①



ヨコハマトリエンナーレ2014 夏の教室②



ホイットラー展 記念講演会



ホイットラー展 アートクルーズ

中学生向け鑑賞シート「ヨコトリ2014をもっと楽しむ!鑑賞ポケットガイド」
市内中学校148校に配布、および会期中適宜配布
発行部数:88,000部

夏の教室① 中学生のためのヨコトリ教室
日時:
準備編:5月18日(日)、6月15日(日)、7月6日(日)・22日(火)、8月4日(月)・7日(木)・11日(月)・12日(火) 10:15~12:15
航海編:8月18日(月)・19日(火)、24日(日)・25日(月)*2日連続のプログラム 9:15~14:15
記録編:9月7日(日)・14日(日)・21日(日) 10月19日(日) 10:15~12:15
講師:逢坂恵理子、天野太郎、森村泰昌(本展アーティストック・ディレクター) 新妻健悦(アトリエ・コパン主宰)
担当:端山聡子、金井真悠子、坂本恭子
会場:横浜美術館8階、展示室、新港ピア
参加費:無料
対象:中学生と高校生
参加人数:23人

夏の教室② ヨコトリ号子ども探検隊
日時:8月18日(月)・19日(火)、8月24日(日)・25日(月)*2日連続のプログラム 9:45~13:45
担当:端山聡子、金井真悠子
会場:展示室、8階、新港ピア
参加費:無料
対象:小学校高学年
参加人数:20人、19人

中学生のためのヨコトリ教室記録誌『船長の航海日誌 世界の中心には発見の海がある』
市内中学校148校・高校97校に配布
発行部数:2,000部

子どもアドベンチャー2014「現代アートの国際展 ヨコハマトリエナーレ2014へ親子で行こう!」
日時:8月20日(水) 10:00~17:00
会場:横浜美術館および新港ピア展示室
参加人数:1,714人(中学生以下1,120人、保護者594人)
*子ども1名につき高校生上無料入場

子ども向け鑑賞シート「親子でたのしむヨコトリ2014鑑賞ポケットガイド」
ヨコハマトリエナーレ2014会期中の親子のフリーゾーン開催時に3回配布
発行部数:550部

サポーターによる事前ガイダンス
日時:ヨコハマトリエナーレ2014会期中

随時 全99回
会場:横浜美術館内各所
参加人数:3,380人

サポーターによるギャラリー・ツアー
日時:ヨコハマトリエナーレ2014会期中の水、金、土、日 全74回
会場:横浜美術館
参加人数:893人

*夏休み子どもフェスタ2014参加の9校が、ヨコハマトリエナーレ2014鑑賞ツアーに参加(p.32参照)

*9月-10月中開催の子どものアトリエ学校のためのプログラム参加の13校(うち5校が鑑賞プログラム [p.36参照])がヨコハマトリエナーレ2014を鑑賞。

*10月中開催の子どものアトリエ親子のフリーゾーンにて、出展作家ギムホンソックの《クマのような構造物-629》をもとに「わたしのクマちゃん」というテーマで、参加者が粘土作品を制作。

サポーター活動報告シンポジウム『協働の地平』
日時:12月21日(日)
会場:ヨコハマ創造都市センター
参加人数:100人

ワークショップ
●「オリジナルハンコを作家自身があなたに押す」
●「オリジナルスタンプを作ってヨコトリ2014を盛り上げよう!」
●「ヴイム・テルポアの芸術探求『彫刻鑑賞・創作体験』」
*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(p.39)

スペシャルサポーター
「私、ヨコトリ行きます!」
サポーター:
別所哲也、杉野希妃、平野啓一郎、鶴田真由、山田五郎、茂木健一郎、野村友里、ピーター・バラカン、はな、鈴木芳雄
協力:5つの質問への回答 ショートエッセイ
*一般向けに、Twitterキャンペーンを実施。

◎ホイッスラー展 記念講演会
●日時:12月6日(土) 14:00~15:30
講師:小野文子(監修者 信州大学 准教授)
タイトル:「ホイッスラー その生涯と画業」
会場:レクチャーホール
参加人数:127人

●日時:1月17日(土) 14:00~15:30
講師:馬淵明子(国立西洋美術館館長)
タイトル:「ホイッスラー テムズ川の浮世絵師」
会場:レクチャーホール
参加人数:240人

ギャラリートーク
日時:(各金曜)1月9・23日、2月6日 15:00~15:30
担当:内山淳子、片多祐子、沼田英子
会場:展示室
参加人数:50人、75人、120人

夜の美術館でアートクルーズ
日時:1月14日(水)・24日(土) 19:00~21:00
担当:内山淳子、片多祐子
会場:展示室
参加費:3,500円
参加人数:27人、30人

子ども向け鑑賞シート「ホイッスラー展ジュニアガイド」
市内小学校342校の5・6年生と中学校148校の1年生に配布、および会場配布
発行部数:150,000部

学芸員による団体向けレクチャー
日時:ホイッスラー展会期中随時 全7回
会場:横浜美術館内各所
参加人数:216人

ワークショップ
「書でつくるオリジナルサイン」
*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(p.39)

わくわく1日鑑賞講座
「親子で『ホイッスラー展』をみよう」
*子どものアトリエ 個人の造形・鑑賞講座 わくわく1日鑑賞講座 参照(p.37)

クリスマス・ナイト・ミュージアム
クリスマス・ナイト・コンサート
*外部と連携した事業 専門館連携 参照(p.53)

「第3回国際音楽祭NIPPON提携プログラム」横浜美術館コンサート
*外部と連携した事業 専門館連携 参照(p.53)

アメリカンモーターフェア2015
*外部と連携した事業 都市戦略との連携 みなとみらい21地区に貢献できるイベント 参照(p.52)

グランモール公園イルミネーション
*外部と連携した事業 都市戦略との連携 みなとみらい21地区に貢献できるイベント 参照(p.52)

鑑賞サポート

コレクション展

◎第1期

「ともだちアーティスト」リレー・レクチャー

日時：4月29日(火祝) 14:00~15:30

担当：中村尚明, 松永真太郎

会場：円形フォーラム

参加人数：26人

ギャラリートーク

日時：(各金曜) 3月7・21日, 4月4・18日,

5月2・16日 14:00~14:30

担当：坂本恭子, 金井真悠子

会場：展示室

参加人数：10人, 10人, 13人, 5人, 15人, 13人

特別支援学校のための鑑賞プログラム

日時：4月25日(金) 10:30~13:30

5月20日(火) 10:30~12:00

担当：関 淳一, 端山聡子, 坂本恭子, 金井真悠子

サポート：各回ボランティア2名

会場：市民のアトリエ, 木版画展展示室

参加人数：22人, 20人

参加学校：横浜市立盲特別支援学校

横浜市立上菅田特別支援学校

◎第2期

アーティスト・トーク

日時：1月18日(日), 2月15日(日)

14:00~15:00

講師：嶋田しづ(画家), 金村 修(写真家)

会場：円形フォーラム, 展示室

参加人数：24人, 60人

ギャラリートーク

日時：(各金曜) 12月19日, 1月16・30日

2月6・20日

14:00~14:30

担当：坂本恭子, 金井真悠子

会場：展示室

参加人数：8人, 30人, 20人, 30人, 20人

エデュケーターによる団体向けレクチャー

日時：コレクション展第2期会期中 全2回

会場：横浜美術館内各所

参加人数：187人

特別支援学校のための鑑賞プログラム

日時：1月17日(土) 10:30~12:00

担当：端山聡子, 坂本恭子, 金井真悠子

サポート：ボランティア6名, インターン1名

会場：市民のアトリエ, 展示室

参加人数：17人

参加学校：日野中央高等特別支援学校

子ども鑑賞シート

対象作品：5作品

配布期間：2月17日(火)~3月1日(日)

発行部数：合計5,000部

わくわく日曜鑑賞講座

「美術ってなんじゃもんじゃ?」

*子どものアトリエ 個人の造形・鑑賞講座 わ

くわく日曜鑑賞講座 参照(p.37)

New Artist Picks

◎田中望展 潮つ路

アーティスト・トーク

日時：2月8日(日) 16:30~17:30

講師：田中 望(出品作家)

会場：アートギャラリー1

参加人数：60人

子ども鑑賞サポート

◎夏休み子どもフェスタ2014

日時：8月11日(月)~13日(水)

10:30~12:00, 14:00~15:30

担当：教育普及グループ

会場：展示室

参加人数：126人

*横浜市内中学校美術部9校が参加し、アートティーチャーズサポーターがヨコハマトリエンナーレ2014の鑑賞ツアーを実施。

募集リーフレット

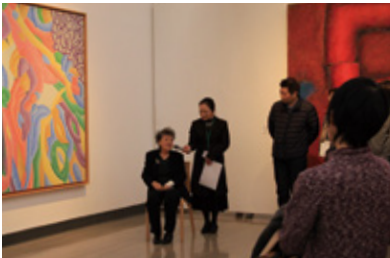
「横浜美術館 教育普及プログラム もっとたのしむ! 横浜美術館」の発行

「横浜美術館 教育普及プログラム もっとたのしむ! ヨコハマトリエンナーレ2014」の発行





コレクション展 ギャラリートーク



コレクション展 アーティスト・トーク



コレクション展 アーティスト・トーク



障がい者向け鑑賞会



田中望展 アーティスト・トーク



夏休み子どもフェスタ2014

ヨコハマトリエンナーレ2014 パブリック・プログラム等

アーティスト・プロジェクト

- ギムホンソック《8つの息》をめぐる3つの解説

日時:会期中毎日 14:00~
会場:横浜美術館展示室5
実施回数:89回

- マイケル・ランティ《アート・ピン》

日時:開場時間内随時
会場:横浜美術館グランドギャラリー
参加作家:490作家

- 釜ヶ崎芸術大学 in ヨコトリ

講座①「芸術と生きる」
日時:9月20日(土) 13:30~17:00
講師:西川 勝(臨床哲学者/看護師),ほか
会場:横浜美術館円形フォーラム
参加人数:209人

講座②「ことばと生きる」
日時:9月21日(日) 10:30~14:30
講師:上田假奈代(詩人/NPO法人こえとことばところの部屋代表理事)
会場:横浜美術館円形フォーラム
参加人数:11人

TAKIDASHIカフェ①,②
日時:9月20日(土) 12:00~13:30
21日(日) 12:00~13:30
助成:おおさか創造千島財団
会場:グランモール公園「美術の広場」
参加人数:300人,466人

講座③「まっかなおつきさんを見る会」
日時:10月8日(水) 18:15~20:30
講師:尾久土正巳(天文学者)
会場:横浜美術館屋外駐車場
参加人数:30人

- Moe Nai Ko To Ba
日時:会期中随時開催(実施しない回有り)
11:00/15:00/*18:00
*18:00は夜間開館日のみ
会場:横浜美術館展示室6
実施回数:185回

消滅のためのラストショー
「Moe Nai Ko To Baを燃やす」
日時:11月3日(月祝)
会場:第一部「最後の朗読」
横浜美術館展示室6
17:00~18:00
第二部「消滅の海へ」
グランモール公園「美術の広場」
18:30~19:00

出演:森村泰昌(本展アーティストック・ディレクター)ほか
参加人数:1300人

- Temporary Foundation「横浜トライアル」CASE BY CASE「日本国憲法をラップする by Shing02」
日時:8月15日(金)
15:00~, 16:00~, 17:00~(各30分)
会場:赤い法廷(横浜美術館・Temporary Foundation 展示室内)
参加人数:130人,164人,160人

- 高山 明/Port B「横浜コミュニケーション(ライブ・インスタレーション)」
日時:10月30日(木)・31日(金),11月1日(土)・2日(日) 16:00~19:00,
11月3日(月祝) 15:00~18:00
会場:nitehi works
参加人数:90人,71人,87人,136人,182人

- トヨダヒトシ「映像日記/スライドショー」《NAZUNA》[2004-2014]
日時:8月9日(土),10月18日(土)
19:00~20:40
会場:横浜美術館レクチャーホール
横浜市開港記念会館講堂
参加人数:65人,145人

《spoonfulriver(ひと匙の河)》[2007-2014]
日時:8月15日(金) 19:00~20:20
会場:横浜市イギリス館
参加人数:31人

《An Elephant's Tail-ゾウノシっぽ》[1999-2014]
日時:9月13日(土) 19:00~20:00
会場:横浜美術館前
参加人数:150人

《黒い月》[2010-2014]
日時:9月22日(月) 19:00~20:10
会場:ランドマークホール
参加人数:100人

《11211》[2000-2014]
日時:9月27日(土) 19:00~19:40
会場:象の鼻テラス
参加人数:120人

《The Wind's Path(あの風の通る道)》[2002-2014]
日時:10月4日(土) 19:00~21:00
会場:ヨコハマ創造都市センター
参加人数:94人

鑑賞サポート

●マイケル・ラコウィッツ

トーク&上映会
日時:8月27日(水) 18:30~20:00
会場:BUKATSUDO
参加人数:53人

《ディナー「ダール・アル=スルフ(平和の家)
—あなたは消滅しかけている言語を亡霊の
出す皿で食べている:平和の家よりイラク
=ユダヤ料理を提供する》
日時:8月28日(木) 19:00~21:00
会場:BUKATSUDO
参加人数:14人

アーティスト・トーク

●ヴィム・テルボア(本展出品作家)
サイモン・スターリング(本展出品作家)
カルメロ・ベルメホ(本展出品作家)
日時:8月1日(金) 13:30~14:30
15:00~16:00, 16:30~17:30
会場:横浜美術館アートギャラリー1
参加人数:57人, 60人, 31人

●イライアス・ハンセン(本展出品作家)
メルヴィン・モティ(本展出品作家)
やなぎみわ(本展出品作家)×沈 昭良(写真家)
日時:8月2日(土) 13:30~14:30
15:00~16:00, 16:30~17:30
会場:横新港ピア カフェ
参加人数:51人, 42人, 101人

●マイケル・ランティ(本展出品作家)
日時:8月3日(日) 14:00~15:00
会場:横浜美術館レクチャーホール
参加人数:121人

●上田假奈代(詩人、NPO法人こえとことば
ところの部屋代表理事)×森村泰昌(本展
アーティストック・ディレクター)
「釜ヶ崎芸術大学 in ヨコトリ」芸術と生きる」
日時:8月10日(日) 14:00~15:30
会場:横浜美術館円形フォーラム
参加人数:66人

●エリック・ボードレール(本展出品作家)
日時:9月7日(日) 14:00~16:00
会場:横浜美術館 レクチャーホール
参加人数:72人

●都築響一(写真家・編集者)×森村泰昌(本
展アーティストック・ディレクター)
「世界の中心には忘却の海がある/路地と
秘宝館はどこにでもある」
日時:10月11日(土) 17:00~19:00
会場:新港ピア
参加人数:181人

映像プログラム

会場:横浜美術館レクチャーホール
●[A] オープニング上映:フランソワ・トリュ
フォー《華氏451》+大林宣彦氏講演会
日時:9月6日(土) 13:30~
参加人数:108人

●[B] 映画の解放—アメリカン・アンダーグラ
ウンド
日時:9月17日(水) 13:30~
10月15日(水) 16:00~
参加人数:39人, 39人

●[C] からだとことば—日本アンダーグラウンド
日時:9月17日(水) 16:00~
10月18日(土) 13:30~
参加人数:42人, 76人

●[D] 見出された物語—ファウンド・フッテージ
日時:9月20日(土) 13:30~
10月15日(水) 13:30~
参加人数:20人, 28人

●[E] 見ること、撮ること—カメラを持った男
たち
日時:9月20日(土) 16:00~
10月1日(水) 16:00~
参加人数:22人, 35人

●[F] ヨコトリ2014参加アーティスト映像選集
日時:10月1日(水) 13:30~
10月18日(土) 16:00~
参加人数:51人, 51人

●[G] 森村泰昌セレクション①
ミヒヤエル・ハネケ《白いリボン》
日時:10月4日(土) 16:00~
参加人数:59人

●[H] 森村泰昌セレクション②
岩佐寿弥《オロ》
日時:10月29日(水) 13:30~
参加人数:79人

●[I] 森村泰昌映像個展①
日時:10月4日(土) 13:30~
参加人数:104人

●[J] 森村泰昌映像個展②
日時:10月29日(水) 16:00~
参加人数:90人

[B] ~ [F] は上映前に学芸員による解説あり
[G] ~ [J] は上映前に森村泰昌ADによるティ
ーチンあり

国際シンポジウム

国際展で考える:現代アートと世界/地域と
の関係

日時:9月14日(日) 14:00~17:30

第1部:プレゼンテーション:

国際展の多様な形、発信と受容の関係
プレゼンター:

マルガリータ・ゴンザレス=ロレンテ(ヴィフ
レド・ラム現代美術センターキュレトリアル
部門副部長)

リヤス・コム(コーチ・ピエンナーレ財団共
同創設者/コーチ=ムジリス・ピエンナーレ
2014プログラム・ディレクター)

黒田雷児(福岡アジア美術館事業管理部長・
学芸課長/FT5芸術監督)

第2部:パネルディスカッション:

「現代アートと世界/地域との関係」

パネリスト:

池田 修(BankART1929代表)

山野真悟(NPO法人黄金町エリアマエンジメ
ントセンター事務局長/黄金町バザールディ
レクター)

逢坂恵理子

会場:横浜美術館レクチャーホール

参加人数:104人

鑑賞プログラム

サポーターによる作品解説

日時:ヨコハマトリエンナーレ2014会期中の
土日, 全24回

各日14:00~15:00, 15:00~16:00

会場:新港ピア

小学生と保護者のための「ヨコトリ2014を
もっと楽しむ! 鑑賞ポケットガイド!」

配布日:6月23日(月)

配布先:市内小学校(横浜市立, 国立, 私立)に

配布、および会期中適宜配布

発行部数:200,000部

プロモーションイベント

ヨコハマトリエンナーレ2014 夜間特別観
覧会(プロガーナイト)

日時:8月8日(金) 19:00~20:30

会場:横浜美術館

参加人数:58人

子どものアトリエ

学校のためのプログラム

造形プログラム(89校) [幼稚園・保育園35園/小学校31校/特別支援・各種学校23校]

時間: 10:00~14:00

会場: 子どものアトリエ

担当: 山崎 優, 岡崎智美, 東 麻奈美

4月18日(金)	鶴見朝鮮初級学校	27人	10月22日(水)	入船の森保育園	17人
4月23日(水)	みなみマーノ保育園	24人	10月24日(金)	鴨志田緑小学校	68人
4月25日(金)	桜台小学校	74人	10月27日(月)	京浜横浜幼稚園	105人
4月30日(水)	神奈川県立横浜南養護学校(重心部門)	10人	10月28日(火)	県立三ツ境養護学校	21人
5月9日(金)	港南台ひの特別支援学校	35人	10月29日(水)	東戸塚こども園	56人
5月13日(火)	小山台小学校	44人	11月4日(火)	ラフ・クルー元町保育園	23人
5月14日(水)	中村愛児園	49人	11月5日(水)	折本小学校	154人
5月16日(金)	新吉田小学校	118人	11月7日(金)	勝田保育園	77人
5月20日(火)	日吉台光幼稚園	46人	11月10日(月)	いぶき野小学校	192人
5月21日(水)	東京横浜独逸学園(幼稚科)	49人	11月11日(火)	城郷小学校	98人
5月23日(金)	本牧めぐみ幼稚園	56人	11月12日(水)	緑区個別支援学級合同	106人
5月27日(火)	高木学園附属幼稚園	57人	11月14日(金)	YMCAとつか保育園	32人
5月28日(水)	西区個別支援学級合同	102人	11月18日(火)	斎藤分小学校	83人
5月30日(金)	常盤台小学校	114人	11月19日(水)	宝島幼稚園	43人
6月3日(火)	岩崎学園新横浜保育園	34人	11月21日(金)	霧が丘小学校	113人
6月4日(水)	泉区個別支援学級合同	72人	11月25日(火)	ヒルズ学園	46人
6月6日(金)	相沢小学校	69人	11月26日(水)	白根小学校	110人
6月10日(火)	中尾小学校	64人	11月28日(金)	南区個別支援学級合同	106人
6月11日(水)	光輪幼稚園	51人	12月2日(火)	南愛児園	50人
6月13日(金)	下田小学校	106人	12月5日(金)	鶴見小学校	112人
6月17日(火)	かんとう幼稚園	87人	12月9日(火)	大岡小学校	115人
6月18日(水)	大曽根小学校	125人	12月10日(水)	ひまわり幼稚園	55人
6月20日(金)	横浜みこころ幼稚園	60人	12月12日(金)	県立金沢養護学校	14人
6月24日(火)	南若宮幼稚園	78人	12月17日(水)	保土ヶ谷区個別支援学級合同	100人
6月27日(金)	戸塚区個別支援学級合同	106人	12月19日(金)	港北区個別支援学級合同	68人
7月1日(火)	下野谷小学校	74人	1月13日(火)	立正桜ヶ丘幼稚園	87人
7月2日(水)	わおわお大倉山保育園	83人	1月14日(水)	中区個別支援学級合同	105人
7月4日(金)	日吉南小学校	151人	1月16日(金)	阿久和小学校	92人
7月8日(火)	和泉小学校	48人	1月20日(火)	めぐみ幼児園	51人
7月9日(水)	栄区個別支援学級合同	95人	1月21日(水)	神奈川区個別支援学級合同	93人
7月14日(月)	すくすく保育園	33人	1月23日(金)	瀬谷区個別支援学級合同	108人
7月15日(火)	仏向小学校	62人	1月27日(火)	南吉田小学校	116人
7月16日(水)	北方小学校	95人	1月28日(水)	霞ヶ丘幼稚園	60人
9月9日(火)	横浜ナーサリー	44人	1月30日(金)	荏田小学校	45人
9月10日(水)	横浜朝鮮初級学校	91人	2月3日(火)	桜ヶ丘幼稚園	72人
9月12日(金)	すすき野小学校	74人	2月4日(水)	大正小学校	94人
9月16日(火)	東中田小学校	118人	2月6日(金)	早苗幼稚園	38人
9月17日(水)	都筑区個別支援学級合同	103人	2月10日(火)	県立鶴見養護学校	32人
9月19日(金)	田園都市幼稚園	73人	2月13日(金)	鶴見区個別支援学級合同	109人
9月24日(水)	霞台保育園	33人	2月17日(火)	オハナ上永谷保育園	45人
9月26日(金)	すみれが丘小学校	71人	2月18日(水)	ろう特別支援学校	76人
9月29日(月)	トトコ幼稚舎	67人	2月24日(火)	中和田南小学校	109人
9月30日(火)	東俣野特別支援学校	28人	2月25日(水)	横浜隼人幼稚園	69人
10月17日(金)	トキワ保育園	30人	2月27日(金)	かもめ幼稚園	48人
10月21日(火)	篠原小学校	89人			

子どものアトリエ

学校のためのプログラム

鑑賞プログラム(5校) [小学校5校]

時間: 10:00~14:00

会場: 子どものアトリエ, 展示室

担当: 山崎 優, 岡崎智美, 東 麻奈美

10月1日(水)	磯子小学校	107人
10月7日(火)	神橋小学校	80人
10月8日(水)	西寺尾小学校	63人
10月10日(金)	境木小学校	123人
10月20日(月)	新吉田小学校	116人



わくわく日曜造形講座



学校のためのプログラム



親子のフリーゾーン



親子のフリーゾーン



長期日曜造形講座



わくわく日曜鑑賞講座

親子のフリーゾーン

日時: 原則日曜 10:00~11:30

会場: 子どものアトリエ

参加費: 小学生以下の子ども無料, 中学生以上100円

4月13日(日)	528人	10月12日(日)	542人
4月20日(日)	482人	10月19日(日)	497人
4月27日(日)	514人	10月26日(日)	416人
5月11日(日)	536人	11月9日(日)	460人
5月18日(日)	602人	11月16日(日)	519人
5月25日(日)	600人	11月23日(日)	600人
6月8日(日)	507人	11月30日(日)	480人
6月15日(日)	503人	12月7日(日)	408人
6月22日(日)	503人	12月14日(日)	351人
7月6日(日)	633人	1月11日(日)	431人
7月13日(日)	629人	1月18日(日)	501人
7月20日(日)	645人	1月25日(日)	501人
8月10日(日)	534人	2月8日(日)	500人
8月17日(日)	602人	2月15日(日)	502人
8月24日(日)	584人	2月22日(日)	507人
9月7日(日)	526人	3月1日(日)	421人
9月14日(日)	616人	3月8日(日)	457人
9月21日(日)	600人	3月15日(日)	477人

募集リーフレット

「横浜美術館 子どものアトリエプログラム ピコラガイド」の発行



個人の造形・鑑賞講座

会場：子どものアトリエ

担当：山崎 優, 岡崎智美, 東 麻奈美

【造形プログラム】

◎わくわく日曜造形講座

4月 立体人間をつくろう

日時：4月13・20・27日[3回] 14:00～16:00

参加費：3,500円

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：15人

5月 えのぐで遊ぼう

日時：5月11・18・25日[3回] 14:00～16:00

参加費：3,500円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：23人

6月 ペーパーアート

日時：6月8・15・22日[3回] 14:00～16:00

参加費：3,500円

対象：幼稚園・保育園の年長児

参加人数：25人

7月 編み編みアート

日時：7月6・13・20日[3回] 14:00～16:00

参加費：4,000円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：25人

9月 スタンプアート

日時：9月7・14・21日[3回] 14:00～16:00

参加費：3,500円

対象：幼稚園・保育園の年長児

参加人数：25人

10月 紙工作に挑戦

日時：10月12・19・26日[3回] 14:00～16:00

参加費：3,500円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：25人

11月 透けるえのぐでかこう

日時：11月9・16・23日[3回] 14:00～16:00

参加費：4,000円

対象：幼稚園・保育園の年長児

参加人数：23人

12月 花器をつくろう

日時：11月30日,12月7・14日[3回]

14:00～16:00

参加費：4,000円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：23人

2月 版画に挑戦

日時：2月8・15・22日[3回] 14:00～16:00

参加費：4,000円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：23人

3月 でこぼこお絵かき

日時：3月1・8・15日[3回] 14:00～16:00

参加費：3,500円

対象：幼稚園・保育園の年長児

参加人数：23人

◎夏休み造形講座

ダンスクラブ

日時：7月28日(月)・29日(火)・30日(水)[3回]

10:00～12:00

参加費：4,000円

対象：幼稚園・保育園の年長児

参加人数：15人

発泡スチロールアート

日時：8月4日(月)・5日(火)・6日(水)[3回]

10:00～12:00

参加費：4,000円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：23人

モザイクアート

日時：8月18日(月)・19日(火)・20日(水)[3回]

14:00～16:00

参加費：4,000円

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：21人

◎わくわく🎨1日造形講座

えのぐでぐちゃぐちゃ

日時：4月29日(火祝) 10:00～12:00

参加費：1,500円

対象：幼稚園・保育園の年長児

参加人数：31人

親子講座 土粘土であそぼう

《年長さん親子》コース

日時：7月21日(月祝) 10:00～12:00

参加費：親子2人で1,500円

(1人追加で+500円)

対象：幼稚園・保育園の年長児と保護者

参加人数：21組54人

《小学生親子》コース

日時：9月23日(火祝) 10:00～12:00

参加費：親子2人で1,500円

(1人追加で+500円)

対象：小学校1～6年生と保護者

参加人数：24組61人

小さな銅版でモノタイプ版画

日時：11月24日(月祝) 10:00～12:00

参加費：2,000円

対象：小学校1～6年生

参加人数：24人

親子講座「ぶらぶら人形」

日時：2月11日(水祝) 10:00～12:00

参加費：親子2人で1,500円

(1人追加で+500円)

対象：幼稚園・保育園の年長児と保護者

参加人数：23組50人

◎長期日曜造形講座

油絵クラブ

日時：5月11・18・25日,6月8・15・22日[6回]

14:00～16:00

参加費：9,000円

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：19人

日本画クラブ

日時：11月9・16・23・30日,12月7・14日[6回]

14:00～16:00

参加費：9,000円(材料費含む)

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：20人

【鑑賞プログラム】

◎わくわく日曜鑑賞講座

横浜美術館鑑賞クラブ「美術ってなんじゃもんじゃ?」

日時：1月11・18・25日[3回] 14:00～16:00

参加費：3,500円

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：10人

◎わくわく🎨1日鑑賞講座

親子で「ホイッスラー展」をみよう

日時：1月12日(月祝) 10:00～12:00

参加費：親子2人で1,000円

(1人追加で+500円)

対象：小学校1～6年生と保護者

参加人数：13組34人

市民のアトリエ

ワークショップ

◎アートとふれあう

版画基礎コース

担当：櫻庭瑠実

日時：(各土曜) [6回] *Cコースのみ4回
各10:10~12:40

Aコース 5月10日-6月14日

Bコース 6月21日-7月26日

Cコース 8月30日-9月20日

Dコース 9月27日-11月1日

Eコース 11月15日-12月20日

Fコース 1月10日-2月14日

Gコース 2月21日-3月28日

インストラクター：

井上智加(銅版画)

数見亮平(シルクスクリン)

大坂秩加(リトグラフ)

会場：市民のアトリエ

参加費：A,B,D,E,F,G=16,000円

C=10,000円

参加人数：A17人,B16人,C17人,D17人

E17人,F17人,G17人

小さなブロンズ作品づくり

日時：[2回] 各14:00~16:30

Aコース 5月24・31日(土)

Bコース 6月18・25日(水)

Cコース 8月14・28日(木)

Dコース 9月11・25日(木)

Eコース 10月15・22日(水)

Fコース 11月3・24日(月祝)

Gコース 11月25日,12月2日(火)

Hコース 1月21・28日(水)

Iコース 3月21日(土祝)・22日(日)

講師：小林且典(彫刻家), 木下貴博

会場：市民のアトリエ

参加費：各4,500円

参加人数：A10人,B10人,C10人,D10人

E10人,F10人,G10人,H10人,I10人

初めての絵画教室

日時：6月21日-7月26日(土) [6回]

1月31日-3月7日(土) [6回]

各14:00~16:00

講師：柳川文秀

会場：市民のアトリエ

参加費：各13,000円

参加人数：15人, 15人

油絵にトライ!

担当：柳川文秀

日時：5月16日-6月27日(金) [7回]

13:30~15:30

講師：皆川琴美(画家)

会場：市民のアトリエ

参加費：各19,000円

参加人数：15人

油絵にトライ!~自画像を描いてみよう~

担当：柳川文秀

日時：2月20日-3月20日(金) [5回]

13:30~15:30

講師：皆川琴美(画家)

会場：市民のアトリエ

参加費：17,000円

参加人数：15人

陶芸の楽しさ「暮らしの器」

担当：木下貴博

日時：6月15・22日,7月13・20日(日) [4回]

14:00~16:00

(最終日は、14:00~15:00)

講師：茂田真史(陶芸家)

会場：市民のアトリエ

参加費：12,000円

参加人数：10人

木によるリトグラフ

—1版彫り進みによるカラー版画制作—

担当：櫻庭瑠実

日時：10月26日-12月7日(日) [7回]

14:00~16:00

講師：佐竹邦子(版画家)

会場：市民のアトリエ

参加費：22,000円

参加人数：15人

クロッキーに挑戦一線で探る

担当：柳川文秀

日時：11月8日-12月13日(土) [6回]

14:00~16:30

講師：松谷千夏子(日本画家)

参加費：19,800円

参加人数：19人



版画基礎コース



版画基礎コース



小さなブロンズ作品づくり



小さなブロンズ作品づくり



油絵にトライ!



木によるリトグラフ



苔玉の小さな森づくり



書でつくるオリジナルサイン



オリジナルスタンプ ヨコトリ2014



オープンスタジオ立体室 木の作品



オープンスタジオ立体室 テラコッタ



オープンスタジオ版画室

◎横浜美術館&横浜美術大学連携公開講座

「ネオライムストーンで彫刻制作を楽しむ」

担当: 木下貴博
 日時: 10月19日 - 12月7日(日) [15回]
 10:00~16:00
 (ただし、10月19日のみ13:30~16:00)

講師: 関 孝行(彫刻家/横浜美術大学講師)
 会場: 展示室, 市民のアトリエ, 横浜美術大学
 参加費: 35,000円
 参加人数: 8人

◎平成26年度《横浜みどりアップ計画》横浜みどりアップ・ワークショップ

担当: 木下貴博, 柳川文秀, 櫻庭瑠実

陶芸&苔玉「小さな森づくり」

日時: 11月8日(土) 13:30~16:30
 11月15日(土) 14:00~16:00
 12月13日(土) 14:00~16:00
 12月20日(土) 14:00~16:00

講師: 茂田真史(陶芸家/東京藝術大学非常勤講師)
 山崎ちえ(盆栽家/豆松屋代表/全日本小品盆栽協会認定講師)

会場: 市民のアトリエ
 参加費: 1,000円
 参加人数: 14人

「苔玉の小さな森づくり」

日時: 12月14・21日(日) 13:30~15:30
 講師: 山崎ちえ(盆栽家/豆松屋代表/全日本小品盆栽協会認定講師)
 会場: 環境活動支援センター
 横浜美術館市民のアトリエ

参加費: 500円
 参加人数: 19人

*参考作品展示

*来館者へのおもてなし ミュージアムショップ
 とカフェ Café小倉山 参照(p.54)

◎展覧会関連ワークショップ

オリジナルハンコを作家自身があなたに押す

担当: 木下貴博, 柳川文秀, 櫻庭瑠実
 日時: 8月17日(日) 10:30~12:00
 13:30~15:00, 16:00~17:30

講師: 葛西絵里香
 会場: アートギャラリー2
 参加人数: 58人

オリジナルスタンプを作ってヨコトリ2014を盛り上げよう!

日時: 8月31日(日), 9月28日(日)
 10:30~16:00

講師: 木下貴博, 柳川文秀, 櫻庭瑠実
 会場: アートギャラリー2
 参加費: 100円
 参加人数: 40人, 45人

ヴィム・デルボアの芸術探究

「彫刻鑑賞・創作体験」

担当: 木下貴博
 日時: 9月6日(土) 15:00~17:00
 9月13日(土) 14:00~17:00
 10月12日(日) 14:00~17:00
 10月25日(土) 16:30~17:30

講師: 佐藤 忠(彫刻家), 林 寿美(ヨコハマトリエンナーレ2014キュレーター)

会場: 市民のアトリエ
 参加費: 6,500円
 参加人数: 18人

*参加者作品展

日時: 10月27日(月)-11月3日(月祝)
 会場: アートギャラリー前通路

ホイッスラー展関連ワークショップ

書でつくるオリジナルサイン

担当: 櫻庭瑠実, 柳川文秀
 日時: 1月25日(日) 10:30~15:30
 講師: はなてる(書道家/絵描き)
 参加費: 3,000円
 参加人数: 14人

オープンスタジオ

◎オープンスタジオ立体室

担当：木下貴博
 会場：市民のアトリエ立体室
 参加費：各コース9,000円
 オプション500円(10:30~13:30)

木の作品

日時：[6回] 各13:30~16:00
 各10:30~13:30(オプション)
 Aコース 4月30日-6月4日(水)
 Bコース 6月7日-7月12日(土)
 Cコース 7月19日-8月23日(土)
 Dコース 9月3日-10月8日(水)
 Eコース 10月7日-11月11日(火)
 Fコース 11月14日-12月26日(金)
 (12月5日は休み)
 Gコース 1月16日-2月20日(金)
 Hコース 2月18日-3月25日(水)
 参加人数：A13人, B14人, C15人, D15人
 E12人, F14人, G12人, H13人
 オプション参加人数：305人

テラコッタ

日時：[6回] 各13:30~16:00
 各10:30~13:30(オプション)
 Aコース 5月12・19・26日, 6月2・9日
 7月7日(月)
 Bコース 7月14・28日, 8月4・11・18日
 9月22日(月)
 Cコース 10月4・11・18・25日, 11月1・29日(土)
 Dコース 11月5・12・19・26日
 12月3・24日(水)
 Eコース 1月17・24・31日, 2月7・14日
 3月14日(土)
 参加人数：A12人, B13人, C12人, D12人
 E13人
 オプション参加人数：214人

◎オープンスタジオ平面室

担当：柳川文秀
 会場：市民のアトリエ平面室

人体クロッキー(ヌード)

日時：(各水曜)
 A,C,Eコース 10:30~13:00
 B,D,Fコース 14:30~17:00
 Aコース 5月14日-7月16日[10回]
 Bコース 5月14日-7月16日[10回]
 Cコース 9月17日-11月19日[10回]
 Dコース 9月17日-11月19日[10回]
 Eコース 1月21日-3月18日[8回]
 (2月11日は休み)
 Fコース 1月21日-3月18日[8回]
 (2月11日は休み)
 参加費：A-Dコース 14,000円
 E,Fコース 11,200円
 参加人数：A20人, B20人, C20人, D20人
 E20人, F20人

人体を描く

日時：[4回] 各14:00~16:30
 Aコース(着衣) 5月20日-6月10日(火)
 Bコース(ヌード) 7月15日-8月5日(火)
 Cコース(着衣) 10月10日-31日(金)
 Dコース(ヌード) 11月18日-12月9日(火)
 Eコース(着衣) 2月24日-3月17日(火)
 参加費：各コース6,000円
 参加人数：A18人, B18人, C18人, D18人
 E18人

◎オープンスタジオ版画室

担当：櫻庭瑠実
 会場：市民のアトリエ版画室

日時：
 第1期 5月10日-7月26日(火・水・土)
 (水) 10:10~16:30
 (火・土) 14:00~16:30
 第2期 8月27日-10月29日(水・土)
 (水) 10:10~16:30
 (土) 14:00~16:30
 第3期 11月1日-12月20日(水・土)
 (水) 10:10~16:30
 (土) 14:00~16:30
 第4期 1月10日-3月28日(火・水・土)
 (水) 10:10~16:30
 (火・土) 14:00~16:30
 (暗室使用はすべて14:00~16:30)
 インストラクター：
 井上智加(銅版画)
 数見亮平(シルクスクリーン)
 大坂株加(リトグラフ)
 参加費：(水) 利用 2,200円
 (火・土) 利用 1,600円
 暗室 1,600円
 参加人数：第1期515人, 第2期345人
 第3期248人, 第4期579人

募集リーフレット

「横浜美術館 市民のアトリエプログラム ワークショップガイド」の発行



市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業

市民協働



ボランティア活動風景



ボランティア活動風景



ボランティア活動風景



ボランティア活動風景



ボランティア活動風景



ヨコハマトリエンナーレ2014ツアー

横浜市、学校、福祉関係機関、市民団体、ボランティア団体、NPO法人、企業などと協働し、美術館教育普及事業の活動を社会に広げます。特に、既存の市民団体、ボランティア団体の活動などとリンクさせることで、美術館の活動への支援を広げるよう努めています。また、横浜美術館コレクション・フレンズというユニークな個人参加型の芸術支援プログラムを通じ、参加者に横浜美術館コレクションを通して、より深く美術と親しむための特別プログラムを提供しています。

ボランティア

子どものアトリエ「親子のフリーゾーン」ボランティア

活動期間：4月13日(日)-3月15日(日)
登録人数：29人
参加人数延べ：299人

美術情報センターボランティア

活動期間：9月17日(土)-3月31日(火)
登録人数：3人
参加人数延べ：44人

美術情報センター1日ボランティア

活動期間：10月21日(火)・25日(土)・27日(月)
11月3日(月祝)・8日(土)・11日(火)・
17日(月)
登録人数：7人
参加人数延べ：7人

教育プロジェクトボランティア

参加人数延べ：2,101人

●美術館ボランティア

活動期間：4月5日(土)-3月31日(火)
登録人数：54人(うち、トリエンナーレ期間
51人)

●横浜トリエンナーレサポーター (美術館チーム)

活動期間：4月5日(土)-11月30日(日)
登録人数：106人(うち、美術館ボランティ
ア51人)

フラットなコミュニケーション

横浜シティガイド協会との連携による ヨコハマトリエンナーレ2014にむけたおも てなしの心育成のための職員研修

日時：7月30日(水) 15:00~16:00
講師：嶋田昌子(NPO法人横浜シティガイド
協会)
会場：レクチャーホール
参加人数：80人

横浜シティガイド協会との連携による ヨコハマトリエンナーレ2014ツアー(みなと みらい地区のパブリックアート巡りとヨコト リ鑑賞ツアー)

日時：10月17日(金)・19日(日)
9:30~11:30
街歩きガイド：NPO法人横浜シティガイド協会
ヨコトリ解説：横浜トリエンナーレサポーター
参加人数：27人、25人

原三溪生誕150年に向けた原三溪市民研究 会との共同研究

定例会原則月1回、第2土曜日

●京都スタディ・ツアー

日時：6月14日(土)・15日(日)
参加人数：26人

●富岡製糸場世界遺産登録記念・原三溪市民 研究会5周年記念「富岡製糸場と横浜の原 三溪—36年間の経営と継承—」

日時：10月11日(土) 14:00~16:30
講演1：岡野雅枝(富岡製糸場総合センター
学芸員)
講演2：内海 孝(東京外国語大学名誉教授/
原三溪市民研究会顧問)

パネルディスカッション：

川幅留司(三溪園参事)、岡野雅枝、内海 孝
共催：原三溪市民研究会／三溪園
会場：レクチャーホール
参加人数：230人

横浜美術館コレクション・フレンズ

10,000点を超える横浜美術館コレクションの継続的な修復や維持を目的として、平成22年にスタートした個人参加型の芸術支援プログラムです。参加者には、横浜美術館コレクションを通して、より深く美術と親しむための特別プログラムを提供しています。「横浜の宝」ともいえるコレクションをより良い状態で未来へ引き継いでいくための、ユニークな取り組みは、これからますますの発展が期待されています。

参加費:一口10,000円 **参加人数:**141名(147口)

平成26年度の対象作品7点

- ・アントニオ・ペウト(不詳-1906年頃)
《遣欧使節とスフィンクス》
- ・アンドレ・マッソン(1896-1987)
《ナルキッソス》
- ・吉村益信(1932-2011)
《大ガラス》
- ・デヴィッド・ホックニー(1937-)
《フレンチ・スタイルの逆光》
- ・中島清之(1899-1989)
《銀座A》
- ・赤地友哉(1906-1984)
《曲輪造紅彩盛器》
- ・國領経郎(1919-1999)
《飛行船の浮かぶ港の景色》

交流会(年2回開催)

日時:10月25日(土) 16:30~18:30
3月8日(日) 16:30~18:30
講師:内山淳子, 八柳サエ
会場: プラッスリー・ティーズ・ミュゼ
参加人数: 65人, 54人

ギャラリートーク(年4回、8日開催)

日時:5月14日(水)・17日(土)
9月24日(水)・28日(日)
12月17日(水)・20日(土)
2月4日(水)・7日(土)
各11:00~12:00
講師: 中村尚明, 松永真太郎, 天野太郎
太田雅子, 柏木智雄
会場: 円形フォーラム, 展示室等
参加人数: 23人・21人, 27人・9人, 23人・20人,
25人・8人



フレンズ 交流会



フレンズ ギャラリートーク



アートティーチャーズ・サポーター



教師のためのワークショップ



神奈川県立こども医療センターでのアウトリーチ



エコ教室

地域社会や市民生活に貢献する事業

美術館における教育普及事業を、地域社会や市民生活に貢献する事業に発展させていきます。学校教育連携事業、アウトリーチ、人材育成事業、環境啓発事業等を行っています。

学校教育連携事業

アートティーチャーズ・デー

日時：3月15日(土)、8月30日(土)、12月20日(土)
10:00～12:00

担当：教育普及グループ、学芸グループ

会場：子どものアトリエ、展示室

参加人数：12人、48人、30人

子どもフェスタにおけるアートティーチャーズ・サポーター(教師ボランティア)の受入

活動期間：7月9日(水)～8月13日(水)

担当：子どものアトリエ

会場：子どものアトリエ、展示室

登録人数：8人

横浜市芸術文化教育プラットフォーム(全7校)

・横浜市立汐見台中学校

5月28日(水) 9:50～12:40

29日(木) 9:50～11:40 185人

・横浜市立旭中学校

6月20日(金) 14:20～15:10 98人

・横浜市立川和中学校

6月26日(木) 13:35～15:25

27日(金) 9:00～10:50

12:35～14:25 230人

・横浜市立本郷中学校

6月30日(月) 10:55～12:45

13:30～15:20 153人

・横浜市立芹が谷中学校

7月3日(木) 10:00～11:50

13:45～14:35 140人

・横浜市立上の宮中学校

7月8日(火) 9:00～11:50

10日(木) 9:00～11:50 206人

・横浜市立上飯田中学校

7月9日(水) 8:50～12:45 127人

担当：関 淳一、端山聡子、坂本恭子、金井真悠子

協力：横浜美術大学、市民のアトリエ

横浜美術館&横浜美術大学連携公開講座

*市民のアトリエ ワークショップ 参照(p.39)

城西国際大学と連携した展覧会ウェブサイト構築

・ウェブサイト構築：

木版画展、コレクション展第1期

・展覧会映像制作：

コレクション展第2期、田中望展

人材育成事業

◎インターンシップ

子どものアトリエ インターン

活動期間：6月21日(土)～3月31日(火)

11月1日(土)～3月31日(火)

担当：山崎 優、岡崎智美、東 麻奈美

会場：子どものアトリエほか

登録人数：9人、1人(合計10人)(大学生5人・

大学院生1人・社会人4人)

参加人数：延べ135人

教育プロジェクト インターン

活動期間：5月10日(土)～3月29日(日)

担当：端山聡子、坂本恭子、金井真悠子

会場：展示室、8階ほか

登録人数：3人(うち2人は社会人)

参加人数：延べ115人

◎子どものアトリエ教師のためのワークショップ

日時：夏期講座7月26日(土)・27日(日)

春期講座3月21日(土)・22日(日)

10:00～16:00

担当：山崎 優、岡崎智美

会場：子どものアトリエ

参加費：各日5,000円

(両日参加の場合は8,000円)

参加人数：57人・61人、72人・50人

◎子どものアトリエ保育士・教師を対象とした研修等

受入件数：9件

参加人数：453人

受入団体：神奈川県教育委員会、町田福祉保

育専門学校、磯子区保育士会、横浜市幼稚園

協会・金沢支部、横浜市小学校図画工作教育

研究会、神奈川県私立幼稚園連合会、横浜市

児童相談所、横浜市特別支援教育研究会、神

奈川県盲ろう者ゆりの会

◎その他研修等

受入件数：7件

参加人数：340人

受入団体：横浜市小学校図画工作教育研究会、

横浜市中学校美術科研究会、神奈川県視覚障

害援助赤十字奉仕団、横浜国立大学教育人間

科学部

外部連携

K2インターナショナル利用者対象

日時：10月6日(日)、2月16日(月)

担当：関 淳一、端山聡子、坂本恭子、金井真悠子

会場：展示室、市民のアトリエ

参加人数：15人、12人

アウトリーチ事業等

アウトリーチ

日時：8月23日(土)・26日(火)、10月31日(金)

11月1日(土)

担当：山崎 優、岡崎智美、東 麻奈美

会場：天王町夏祭り子どもフェスタ*、神奈川

県立こども医療センター*、瀬谷中央保

育園*、磯子区民センター杉田劇場

参加人数：52人、46人、44人、23人

*Heart to Art(p.53)による開催

Heart to Art《よこしん》親子でエコ教室共催(パフォーマンスショー&ポスター制作)

日時：8月8日(金)

13:00～13:50、14:00～15:40

講師(パフォーマンスショー)：らんま先生

担当(ポスター制作)：山崎 優、岡崎智美

東 麻奈美

会場：レクチャーホール、子どものアトリエ

参加人数：142人&57人

環境啓発事業

平成26年度《横浜みどりアップ計画》横浜みどりアップ・ワークショップ

*市民のアトリエ ワークショップ 参照(p.39)

美術品の収集、保存・修復、貸出

収集

資料収集方針

横浜美術館では、次のような方針に基づき作品を収集しています。(平成27年3月現在11,375件所蔵)

- 1 西洋文化の流入窓口であった横浜開港当時からヨーロッパ近代美術と日本近代美術の相互影響の足跡がたどれる作品
- 2 (1) 現代美術の展開と流れの鳥瞰に役立つ作品
(2) 今日の美術が内包する問題点を明確に表している作品
(3) 近代美術の一分野としての写真の代表作品
(4) 現代の市民生活に密着した分野(デザイン、工芸、建築、ピエオ)の代表作品
- 3 横浜ゆかりの代表的作家の作品
(1) 岡倉天心との関係を含めて、原三溪に庇護された、日本近代美術の発展に寄与した作家の作品
(2) その他、横浜ゆかりの代表的作家の作品
- 4 以上の美術に関連する資料

収集実績

分野別作品収集点数 平成26年度末累計：()内は26年度収集作品

	日本画	油彩画 (日本洋画・西洋洋画)	版画	水彩・素描	彫刻・立体	工芸	写真	作品外資料*	合計
購入	162 (0)	198 (0)	1,607 (0)	62 (0)	46 (0)	82 (0)	3,183 (0)	0 (0)	5,340 (0)
寄贈	649 (3)	300 (16)	1,601 (26)	1,545 (3)	56 (0)	90 (1)	743 (25)	1051 (97)	6,035 (171)
合計	811 (3)	498 (16)	3,208 (26)	1,607 (3)	102 (0)	172 (1)	3,926 (25)	1051 (97)	11,375 (171)

*「作品外資料」とは、美術作品そのものではなく、例えば、書簡のように画家・作家の足跡、交友関係が辿れる資料や作品の制作に使用した道具のように、制作の背景を明らかにするような資料です。(「横浜市美術資料収集方針」の4、「第1項から第3項に関連する資料」が該当します。)

主な収蔵品

作家	作品名
大岩オスカー	《Man and Woman》
カロリユス=テュラン	《アンドロメダ》
福田美蘭	《風神雷神図》

*今年度の収集作品については、「横浜美術館収蔵品目録」(平成27年度発行予定)を参照

保存・修復

分野	作家名	作品名	収蔵品番号	修復内容
西洋画	ルネ・マグリット	《王様の美術館》	88-OF-006	亀裂の修復、浮きの押さえ
版画	パブロ・ピカソ	ヴィーナスとキューピッド(クラナツハによる)Ⅰ	86-PRF-007	マット装
		ヴィーナスとキューピッド(クラナツハによる)Ⅱ 第1ステート	86-PRF-008	マット装
		ヴィーナスとキューピッド(クラナツハによる)Ⅱ 第2ステート	86-PRF-009	マット装
		ヴィーナスとキューピッド(クラナツハによる)Ⅲ	86-PRF-010	マット装
	吉田 博	冬木立	2011-DRJ-002	マット装
写真	遅鵬	五行山	2009-PHF-006	裏打ち

貸出

貸出件数・点数

貸出先総件数：32件(うち海外2件)

貸出総作品数：235点

貸出実績

展覧会名称・展覧会場・展覧会会期	作家名	作品名・収蔵品番号
「日本画にみる「さくら」展—横山大観から中島千波まで—」 水野美術館 平成26年4月26日(土)-6月1日(日)	今村紫紅	《春の山路》
「追憶の美人 日本画家・鏑木清方」展 佐野美術館 平成26年4月5日(土)-5月11日(日)	鏑木清方	《春宵怨》 《遊女》 《春のななくさ》
「映画をめぐる美術—マルセル・ブロータースから始める」展 東京国立近代美術館 平成26年4月22日(火)-6月1日(日)	シンティ・シャーマン	《無題のフィルム・スティール No.23》
「描かれたチャイナドレス—藤島武二から梅原龍三郎まで」展 ブリヂストン美術館 平成26年4月26日(土)-7月21日(月祝)	岡田謙三	《満人の家族》
「ジャン・フォートリエ展」 東京ステーションギャラリー 平成26年5月24日(土)-7月13日(日)	ジャン・フォートリエ	《無題》
豊田市美術館 平成26年7月20日(日)-9月15日(月祝)		
国立国際美術館 平成26年9月27日(土)-12月7日(日)		
「ゴー・ビトゥワーズ展：こどもを通して見る世界」 森美術館 平成26年 5月31日(土)-8月31日(日)	クリスチャン・ボルタンスキー	《シャス高校の祭壇》
「挑戦する日本画：1950～70年代の画家たち」展 名古屋市美術館 平成26年7月5日(土)-8月24日(日)	森田曠平	《渡来図》
「アートが絵本と出会うとき—美術のパイオニアたちの試み—」展 下関市立美術館 平成26年7月17日(木)-8月31日(日)	クルト・シュヴィッターズ アレクサンドル・ロトチェンコ	《メルツ絵画1C》 《詩人ウラジミール・マヤコフスキー》 《ザモスヴェリ》 《ギア》 《階段》
鹿児島市制125周年・新生鹿児島市10周年記念 「西洋近代絵画と松方コレクション」展 鹿児島市立美術館 平成26年7月18日(金)-8月31日(日)	ジャン=ジャック・エンネル シャルル=エミール・ジャック アルフレッド・ステヴァンス ポール・セザンヌ	《ニンフ》 《牧舎》 《室内の婦人》 《水浴者たち(大)》 《水浴者たち(小)》
「熊本—東京 画家たちの上京物語」展 熊本県立美術館 平成26年7月19日(土)-8月31日(日)	マックス・エルンスト	《少女が見た湖の夢》
「ヨコハマトリエンナーレ2014」 横浜美術館、新港ピア 平成26年8月1日(金)-11月3日(月祝)	吉村益信 ジョセフ・コーネル ルネ・マグリット 中平卓馬	《大ガラス》 《ムツシュ・フォットの孫息子による芝居ホテル、毎週日曜日午後》 《ソープ・バブル・セット：コペルニクスの体系》 《石の星》 《出現》 《幸せな日》 《破壊者》 《無題「原点復帰—横浜」より》7点 (2012-PHJ-001,005,006,007,009,011,012)
Bunkamura25周年特別企画 「だまし絵Ⅱ 進化するだまし絵」展 Bunkamura ザ・ミュージアム 平成26年8月9日(土)-10月5日(日)	メレット・オッペンハイム マウリッツ・コルネリス・エッ	《栗鼠》 《昼と夜》
兵庫県立美術館 平成26年10月15日(水)-12月28日(日)	シャー	《物見の塔》 《星群》 《凸面と凹面》 《上りと下り》 《滝》
名古屋市美術館 平成27年1月10日(土)-3月22日(日)		

貸出

展覧会名称・展覧会場・展覧会会期	作家名	作品名・収蔵品番号
バーミンガム大学付属バーバー美術館 平成26年8月30日(土)-平成27年3月8日(日)	パブロ・ピカソ	《ひじかけ椅子で眠る女》
「20世紀検証シリーズ No.4 種村季弘の眼 迷宮の美術家たち」展 板橋区立美術館 平成26年9月6日(土)-10月19日(日)	オットー・ディックス	《仔牛の頭部のある静物》
「錦木清方と江戸の風情」展 千葉市美術館 平成26年9月9日(火)-10月19日(日)	錦木清方	《暮雲低迷》 《夕河原》
「おいしいアート 食と美術の出会い」展 横須賀美術館 平成26年9月13日(土)-11月3日(月祝)	カミーユ・ピサロ	《エラニーの農婦》
特別展「岡田三郎助—エレガンス・オブ・ニッポン—」展 佐賀県立美術館 平成26年9月19日(金)-11月16日(日)	鶴岡政男	《喰う》
「菱田春草展」 東京国立近代美術館 平成26年9月23日(火)-11月3日(月)	岡田三郎助	《婦人》
「東京アートミーティング(第5回) 新たな系譜学をもとめて— 跳躍/痕跡/身体」展 東京都現代美術館 平成26年9月27日(土)-平成27年1月4日(日)	菱田春草	《夏汀》
「山本鼎のすべて展」 上田市立美術館 平成26年10月2日(木)-11月9日(日)	アンリ・マティス	《ダンス》
滋賀県立近代美術館開館30周年特別展 安田鞞彦生誕130年、 小倉遊亀生誕120年 「遊亀と鞞彦一師からのたまもの・受け継がれた美—」展 滋賀県立近代美術館 平成26年10月11日(土)-11月24日(月祝)	ポール・セザンヌ	《ガルダンヌから見たサント=ヴィクトワール山》
	安田鞞彦	《聖日蓮之門徒》 《松風》 《窓》 《紅花・青花》 《「夢殿」画稿》 《聖徳太子図》 《不動図》
	安田鞞彦ほか	水木十五堂書簡、スケッチなど79点
	小倉遊亀	《良夜》 《並ぶ》 《つばみ》
	前田青邨	《スケッチする人物(仮題)》
「横山大観の富士展」 平塚市美術館 平成26年10月11日(土)-11月24日(月祝)	横山大観	《霊峰不二》
「國領経郎展 砂丘と群像を描く」 ミウラート・ヴィレツジ(三浦美術館) 平成26年10月19日(日)-11月30日(日)	國領経郎	《飛行船の浮ぶ港の風景》
「Madame Cézanne」 メトロポリタン美術館 平成26年11月19日(水)-平成27年3月15日(日)	ポール・セザンヌ	《縞模様の服を着たセザンヌ夫人》
東京駅開業百年記念「東京駅100年の記憶」展 東京ステーションギャラリー 平成26年12月13日(土)-2015年3月1日(日)	稲垣知雄	《雪の東京駅》
	師岡宏次	《東京駅前(東京丸の内シリーズ)》 《ラッシュアワー 東京駅前(東京丸の内シリーズ)》
「中村ケンゴ展『モダン・ジャパニーズ・ジャパニーズ=スタイル・ ペインティング1994-2014』」 掛川市二の丸美術館 平成27年1月4日(日)-2月15日(日)	中村ケンゴ	《コンポジション・トウキョウ》(72点)
「夜の画家たち—蠟燭の光とテネブリスム—」展 ふくやま美術館 平成27年1月24日(土)-3月22日(日)	小林清親	《今戸夏月》
山梨県立美術館 平成27年4月18日(土)-6月14日(日)	月岡芳年	《東名所墨田川 梅若之古事》 《藤原保昌 月下弄笛図》
平成26年度横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 「旅をするまなざし」 横浜市民ギャラリーあざみ野 平成27年1月31日(土)-2月22日(日)	フェリーチェ・ベアト	「写真アルバム」のうち 《神奈川の目抜き通り》 《王子の茶屋》 《横浜の競馬場》

展覧会名称・展覧会会場・展覧会会期	作家名	作品名・収蔵品番号
特別展「吉田博・吉田ふじを展 世界を旅した夫婦画家」 一宮市三岸節子記念美術館 平成27年1月31日(土)-3月15日(日)	吉田 博 吉田ふじを	《冬木立》 《ボンシアレオン・ホテルの中庭》 《パリ シャンゼリゼ》
「美術でたどる物語」展 高崎市タワー美術館 平成27年1月31日(土)-3月22日(日)	梶田半古 小林古径	《源氏物語図屏風》 《竹取物語昇天図(画稿)》
「空飛ぶ美術館」展 三重県立美術館 平成27年3月7日(土)-5月6日(水祝)	ジョン・アームストロング 長谷川 潔	《復活祭の分析》 《飛行機》 《ル・ブールジェ空港》
「マグリット展」 国立新美術館 平成27年3月25日(水)-6月29日(月)	ルネ・マグリット	《王様の美術館》 《青春の泉》

広報の活動、外部と連携した事業

広報

個別の展覧会や事業ごとの宣伝だけでなく、横浜市の芸術拠点としての「横浜美術館」の発信、芸術文化の振興のために、広報を重視し、戦略的に取り組んでいます。

私たちが目指している方向とそのための取組み、さまざまな活動の内容とその成果も含め、横浜美術館を支えていただいている市民やメディアそして社会との信頼と支援の関係性をより強固に形成してゆきたいと考えます。そのために「横浜美術館」としての発信を行うパンフレットや刊行物等を発刊するとともに、さまざまな媒体を活用した迅速かつ計画的なPRに取り組んでいます。

また、横浜美術館を取り巻く社会の構造、また市民の生活行動や芸術文化に対するニーズなども今後大きく変化していきます。それらを分析、把握し、私たちの事業や管理運営活動に反映させ、展開していくことが必要です。マーケティング戦略の再構築をすべく、取り組んでいます。

露出件数(ヨコハマトリエンナーレ2014を除く)

新聞	56
美術雑誌	124
一般雑誌	259
ウェブ	191
TVラジオ	81
その他	32
合計	743



木版画展 記者会見



ホイッスラー展記者会見



メディア懇談会



近隣アートプログラム 木版画展



近隣アートプログラム ヨコハマトリエンナーレ2014



近隣アートプログラム ホイッスラー展

展覧会広報

◎木版画展

記者会見

日時:2月28日(金) 14:00~14:30

登壇者:逢坂恵理子, 太田雅子

会場:アートギャラリー2

参加人数:64人

報道内覧会

日時:2月28日(金) 13:00~18:00

会場:展示室

参加人数:64人

◎ホイッスラー展

記者会見

日時:12月5日(金) 14:00~15:00

登壇者:小野文子(監修者 信州大学 准教授)

逢坂恵理子, 内山淳子

会場:レクチャーホール

参加人数:60人

報道内覧会

日時:12月5日(金) 13:00~18:00

会場:展示室

参加人数:98人

◎ヨコハマトリエンナーレ2014

開幕記者会見

日時:7月31日(木) 14:00~15:00

登壇者:森村泰昌, 逢坂恵理子, ヴィム・テルボア

ギムホンソック, 大竹伸朗, 毛利悠子

会場:レクチャーホール

アートギャラリー1(ライブストリーム

会場)

参加人数:315人

報道内覧会

日時:7月31日(木) 12:30~18:00

会場:展示室

参加人数:464人

全館広報

ウェブサイト

- アクセス数：4,235,211
(平成27年3月31日現在)
- ウェブサイトリニューアル
リニューアル日：10月14日(火)
日・英・中・韓4カ国語化、コレクション作品ページの追加(代表作23点を作品解説と共に紹介)、情報の一元化によるユーザビリティ、アクセシビリティの向上などを行い発信力を強化しました。

Twitter

フォロワー数：28,180
(平成27年3月31日現在)

メールニュース

登録者数：6,032人
(平成27年3月31日現在)
発行数：定期便24回、臨時便12回
トピック：新規登録キャンペーンを2回実施

コレクションを活用した広報ツール制作

クリアファイル2種の制作

◎メディア懇談会

横浜市内媒体向け

逢坂恵理子による「ヨコハマトリエンナーレ2014」ギャラリートツアー
日時：8月19日(火)
13:00～15:00
会場：円形フォーラム, 展示室
新港ピア
参加社数：10社
参加人数：12人

文化記者向け

2015年度企画展紹介と懇談会
日時：2月23日(月)
14:00～16:00
会場：8階レセプションルーム
参加社数：5社およびフリーランス
参加人数：18人

◎FMヨコハマとの連携

“THE BREEZE”パーソナリティーと楽しむ! 横浜美術館コレクションラリー

日時：平成26年3月15日(土)
会場：コレクション展示室
参加人数：61人

FMヨコハマ“THE BREEZE”内「もっと楽しむ! 横浜美術館」コーナー提供

学芸員の出演によりコレクション展展示中作品を1作ごと紹介する。
日時：12月-3月 毎週金曜
10:10～10:20 計18回

◎近隣アートプログラム

近隣企業、団体向け特別鑑賞会を通じた館の広報

MARK IS みなとみらい店長会等横浜美術館および企画展について学芸員等が説明

日時：平成26年2月-平成27年2月 計14回
会場：レクチャーホール
参加人数：計1,966人

MMcc(Minato Mirai community club)

みなとみらい地区の就業者による団体に向け、企画展の鑑賞および懇親会

- 木版画展
日時：4月25日(金)
19:00～21:00
参加費：1,900円

参加団体数：11団体
参加人数：71人

●ヨコハマトリエンナーレ2014

日時：9月26日(金)
19:00～21:00
参加費：1,900円
参加団体数：13団体
参加人数：110人

●ホイッスラー展

日時：2月4日(水)
19:00～21:00
参加費：無料
参加団体数：14団体
参加人数：280人

みなとみらいかもめSCHOOL

みなとみらい地区在勤者に向け、木版画展アートクルーズへの参加および学芸員のレクチャー実施
日時：4月16日(水)

19:00～21:00(実践)

4月23日(水)

7:15～8:15(座学)

講師：沼田英子

参加費：3,500円
参加人数：5人, 4人

*鑑賞サポート 企画展 木版画展 参照(p.30)

マーケティング

展覧会アンケートに見る来場者プロフィール *回収率=回収数÷総入場者数

木版画展

総数：1,857通(回収率*4%)

来館回数	11回以上	17%
	6～10回	19%
	2～5回	36%
	今回が初めて	26%
	不明	2%
居住地	市内	46%
	市外	50%
	不明	4%
性別	女性	72%
	男性	25%
	不明	3%
年齢	19歳以下	8%
	20代	11%
	30代	15%
	40代	20%
	50代	21%
	60代以上	23%
	年齢不明	2%

ヨコハマトリエンナーレ2014

総数：1,456通(回収率*0.7%) 新港ピア会場も含む

ヨコハマトリエンナーレへの来場 (複数回答可)	第一回展(2001年)	19%
	第二回展(2005年)	25%
	第三回展(2008年)	32%
	第四回展(2011年)	42%
	今回が初めて	39%
	不明	9%
居住地	市内	23%
	市外	63%
	不明	14%
性別	女性	60%
	男性	33%
	不明	7%
年齢	19歳以下	6%
	20代	23%
	30代	21%
	40代	20%
	50代	14%
	60代以上	9%
	年齢不明	7%

ホイッスラー展

総数：1,010通(回収率*0.9%)

来館回数	11回以上	20%
	6～10回	22%
	2～5回	32%
	今回が初めて	22%
	不明	4%
居住地	市内	39%
	市外	80%
	不明	3%
性別	女性	63%
	男性	34%
	不明	3%
年齢	19歳以下	6%
	20代	11%
	30代	13%
	40代	19%
	50代	19%
	60代以上	28%
	年齢不明	4%

展覧会デブリーフィング 第1回 6月3日(火) 第2回 12月1日(月) 第3回 3月17日(火)

外部と連携した事業

文化芸術創造都市「横浜」の中心的な施設として、横浜市の都市戦略である創造都市形成や、シティ・セールス、観光プロモーションと連携した事業を展開しています。また、横浜市芸術文化振興財団は、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館などを管理運営しています。それぞれに専門分野がありますが、社会課題への対応や子どもへの取り組みなどの共通の課題については、横断的な検討体制により連携して実施します。

都市戦略との連携

◎みなとみらい21地区に貢献できるイベント

グランモール公園イルミネーション

日時:11月6日(木)-3月15日(日)
16:00~24:00

会場: グランモール公園「美術の広場」
主催: グランモール公園愛護会
協力: MARK IS みなとみらい, 横浜美術館

《よこしん》プレゼンツ〜横浜ベイ・オーケストラメンバーによる木管五重奏の調べ〜

日時:1月10日(土)
13:30~14:00, 14:30~15:00

会場: グランドギャラリー
参加人数: 222人, 234人

*Heart to Art (p.53) による開催

アメリカンモーターフェア2015

日時:1月24日(土)・25日(日)

会場: グランモール公園「美術の広場」
横浜美術館駐車場

主催: アメリカンモーターフェア2015実行委員会
参加人数: 15,018人

横浜アートde街コン in 横浜美術館

日時:2月28日(土)

会場: ホイッスラー展示室

主催: 街コンジャパン(株式会社リンクバル)
参加人数: 52人

◎横浜市と連携したレセプション会場の提供

日本超音波医学会

日時:5月8日(木) 17:00~20:00

会場: グランドギャラリー

参加人数: 115人

(うち57人が17:00~18:30に木版画展観覧)

◎横浜市が推進するイベント等との連携

子どもアドベンチャー2014

「現代アートの国際展 ヨコハマトリエンナーレ2014へ親子で行こう!」

*鑑賞サポート 企画展 ヨコハマトリエンナーレ2014 参照(p.31)

クラシック・ヨコハマ2014

ミュージアムコンサート

●音遊びワークショップ

日時:12月7日(日)
11:30~12:00, 13:30~14:30

会場: 8階レセプションルーム
参加人数: 14組, 7組(子どもとその保護者)

●花てまり新春コンサート

お正月にちなんだクラシックコンサート。専門館連携により横浜みなとみらいホールが企画制作。

日時:1月4日(日)
11:00~11:30, 14:00~14:30

会場: グランドギャラリー
参加費: 無料
参加人数: 150人, 170人

フォト・ヨコハマ2015 パートナーイベント

●コレクション展 第2期 特集展示

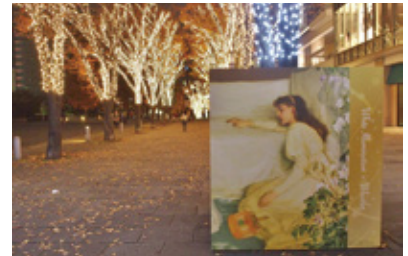
*コレクション展 第2期 参照(p.18-19)

●フォトヨコハマプレゼンツ Open Show CP*2015

日時:2月14日(土) 14:00~16:30

会場: レクチャーホール

参加費: 無料
参加人数: 95人



グランモール公園イルミネーション



《よこしん》コンサート



アメリカンモーターフェア2015



ヴォーチェス8が贈るア・カペラ・クリスマス



花てまり新春コンサート



ハンドベル・ナイト

専門館連携

第3回国際音楽祭NIPPON

横浜美術館コンサート

ホイッスラー展にちなんだクラシックコンサート。ヴァイオリニスト諏訪内晶子が芸術監督を務める音楽祭と連携。

●ヴォーチェス8が贈るア・カペラ・クリスマス

日時:12月12日(金)
15:30~16:00, 17:00~17:30

会場: グランドギャラリー

参加費: 無料

参加人数: 220人, 150人

●ピエール・アモイヤルと次代を担う演奏家たち

日時:12月13日(土)
15:30~16:00, 17:00~17:30

会場: グランドギャラリー

参加費: 無料

参加人数: 308人, 120人

クリスマス・ナイト・コンサート

夜間開館の3日間、ホイッスラー展にちなんだコンサートイベントを実施。

●NHK 交響楽団メンバーによる弦楽四重奏

日時:12月22日(月) 18:15~19:00

会場: グランドギャラリー

参加費: 無料

参加人数: 195人

●ハンドベル・ナイト

日時: 12月23日(火祝) 18:15~19:00

会場: グランドギャラリー

参加費: 無料

参加人数: 250人

●NHK 横浜放送局公開生放送

「横浜サウンド☆クルーズ スペシャルジャズライブ」

日時: 12月24日(水) 18:00~19:00

会場: グランドギャラリー

参加費: 無料

参加人数: 380人

21世紀ミュージアムサミットーミュージアムのマネジメントを考える

日時: 3月24日(火)

会場: 円形フォーラム

主催: 公益財団法人かながわ国際交流財団

参加人数: 40人

特別鑑賞会

NKK シームレスパイプ鋼管

日時: 平成26年3月13日(木) 14:00~20:00

会場: グランドギャラリー

参加人数: 80人

(うち80人が17:00~18:00に木版画展観覧)

Heart to Art(企業向け芸術支援プログラム)

Heart to Artは、企業からの支援により美術の普及活動や市民へのサービスを充実させるプログラムです。

企業と美術館がそれぞれのノウハウを活かすことにより幅広い展開を目指しています。

・参加企業: 横浜信用金庫

来館者へのおもてなし

ビジターサービス

展覧会へのご理解を気軽に深めていただけるよう、個人や団体向けの鑑賞レクチャーを開催するとともに、その会場となるアートギャラリー1の整備を進めました。また、エントランスホールであるグランドギャラリーにおいて、季節感のある空間演出を行っています。

個人向け鑑賞ガイド

- 展覧会・ココがみどころ
* 鑑賞サポート 企画展 木版画展 参照(p.30)
- サポーターによるギャラリー・ツアー
* 鑑賞サポート 企画展 ヨコハマトリエンナーレ2014 参照(p.31)

団体向け鑑賞前レクチャー

- 学芸員による団体向けレクチャー
* 鑑賞サポート 企画展 木版画展 参照(p.30)
- サポーターによる事前ガイダンス
* 鑑賞サポート 企画展 ヨコハマトリエンナーレ2014 参照(p.31)
- 学芸員による団体向けレクチャー
* 鑑賞サポート 企画展 ホイッスラー展 参照(p.31)

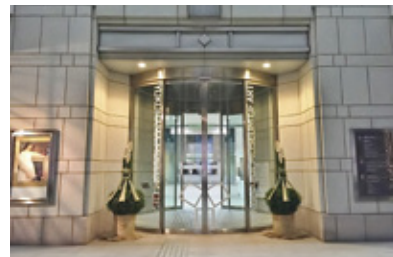
グランドギャラリーの演出

- 横浜美術館開館25周年記念
・記念ポスターの制作と館内各所への掲示
期間: 3月29日(土) - 12月28日(日)
- ・開館以来の全企画展105件をモニターで紹介 期間: 3月29日(土) - 4月24日(木)
- ・開館以来の全企画展105件のチラシ展示 期間: 4月25日(金) - 5月25日(日)
- 正月飾り
期間: 12月27日(土) - 1月7日(水)

要覧、多言語によるファシリティガイドの発行
発行: 3月



横浜美術館開館25周年記念



正月飾り

ミュージアムショップとカフェ

◎ミュージアムショップ

横浜美術館が所蔵する絵画・版画などのポストカードや独自のデザインをもとに作られたオリジナル・グッズをはじめ、企画展毎に特設コーナーを設置するほか、名画の額絵・書籍など、2,000種におよぶ商品を販売しています。ヨコハマトリエンナーレ2014開催前に改装を行い、7月にリニューアルオープンしました。

営業時間: 11:00~18:00



ショップ ヨコハマトリエンナーレ2014



ショップ ホイッスラー展

オリジナルグッズ

4月にコレクションによるオリジナルポストカードと、『横浜美術館コレクション選』を販売開始。ヨコハマトリエンナーレ2014公式グッズを4種開発。

オンラインショップ

200点以上の商品を掲載。特設サイトとして、「母の日」(5月)、「クリスマス」(12月)、「バレンタイン」(2月)を開設。また11月にデザインリニューアルを行った。

◎Café 小倉山

展覧会の余韻を感じながらくつろげるスペースで飲み物や軽食を提供しています。

営業時間: 10:45~18:00 ラストオーダー17:30

展覧会限定メニュー

- 木版画展: 木版画サンド
- ヨコハマトリエンナーレ2014:
世界のドリンク6種、ポセイドンソーダ、トリトンパフェ、ひかりのみずたまり
- ホイッスラー展: シンフォニープレート、小さなバラのアップルティー

冬: クリスマスプレート、ゆずデニッシュ、ハニージンジャーミルク
正月: おしるこ



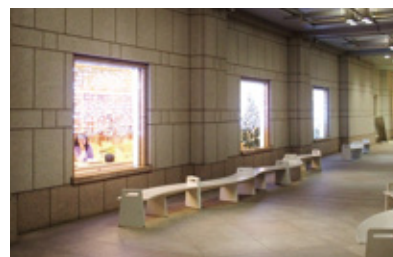
カフェ ヨコハマトリエンナーレ2014

期間限定メニュー

- 春: 桜咲くセット、桜フロート、桜といちごのカプチーノ
西区制70周年: にしまろちゃんパンケーキ(3月29日)
- 夏: カレー3種、サンド3種
- 秋: パンプキンサンドセット、モンブランパンケーキ、スイートカプチーノ

イベント

- 横浜みなとみらいホール主催「ビヨンド・ザ・ボーダー音楽祭2014」コーナー設置
期間: 5月20日(火) - 6月29日(日)
- 開館以来の全企画展105件のチラシ展示
期間: 6月14日(土) - 7月6日(日)
- 苔玉の小さな森づくり 参考作品展示
期間: 12月23日(火祝) - 28日(日)
- イルミネーション装飾
期間: 12月4日(木) - 3月16日(月)



カフェ イルミネーション装飾

国際的な交流・発信

来館者 (肩書きは来館・視察当時。中国系、韓国系の名前は原則氏名の順)

ラドゥ・ベトル・シェルバン
駐日ルーマニア大使館 特命全権大使
ルーマニア
当館コレクション「ブランクーシ」視察
4月15日

リ・インピン
台湾文化省 副大臣
台湾
今後の文化交流
6月21日

◎ヨコハマトリエンナーレ2014視察

ローラ・アレ
サンフランシスコ・アジア美術館 学芸部・日
本美術工芸課長
アメリカ
5月12日

バーバラ・ロンドン
元ニューヨーク現代美術館 キュレーター／
現エール大学 教授
アメリカ
7月31日

トレイシー・リュ
ジェームス・ココラン・ギャラリー デイレク
ター
アメリカ
7月31日

スック・キョン・リー
テートリサーチセンター アジア・パシフィック
リサーチ・キュレーター
イギリス
7月31日

ジョナサン・ヴァイナー
ジョナサン・ヴァイナー・ギャラリー デイレク
ター
イギリス
7月31日

フランソワ・シャンタラ
トーマス・テイ
ン・ギャラリー デイレクター
イギリス
7月31日

サラ・ウォン
リッソン・ギャラリー アソシエイト・ディレク
ター／アジア・パシフィック
イギリス
7月31日

ティエリー・ラスパイユ
リヨン現代美術館 館長／リヨン・ピエンナーレ
芸術監督
フランス
7月31日

キム・ヒュンジー
釜山ピエンナーレ組織委員会広報担当
韓国
7月31日

クォン・ダルソル
釜山ピエンナーレ組織委員会 エグゼクティブ・
ディレクター
韓国
7月31日

ホン・リジ
ソウル市立美術館 キュレーター
韓国
7月31日

ビュン・ジヒ
ソウル市立美術館 広報担当キュレーター
韓国
7月31日

サン・スギ
ソウル市立美術館 学芸長
韓国
7月31日

エミ・ユウ
STPI デイレクター
シンガポール
7月31日

ルーベン・ドウル・ラ・ヌエズ
南洋工科大学 客員准教授
シンガポール
7月31日

ダン・オヘダ・ヘルナンデス
南洋工科大学 客員准教授
シンガポール
7月31日

リン・ペイユ
プロジェクト・フルフィル・アートスペース
ディレクター
台湾
7月31日

ウ・ダーケ
ン
台北国立芸術大学 キュレーター
台湾
7月31日

ウォン・ホンカイ
第54回ヴェネチア・ピエンナーレ 台湾パビ
リオン出品作家
台湾
7月31日

ラルス・ニティヴェ
M+美術館 エグゼクティブ・ディレクター
中国(香港)
7月31日

コニー・ラム
香港アートセンター エグゼクティブ・ディレ
クター
中国(香港)
7月31日

ツェン・ルディ
キュレーター、コレクター
台湾
7月31日

ジェイ・シュウ
サンフランシスコ・アジア美術館 館長
アメリカ
8月3日

ブリティッシュ・カウンシル 3人
・キャロライン・ストックマン、チーフ・ファイ
ナンシャル・オフィサー
・ハン・レオン、リージョナル・ダイレクター
・ファイナンス
・ジェフ・ストリーター、ブリティッシュ・カウ
ンシル駐日代表／英国大使館文化参事官
イギリス
8月14日

アレキサンドラ・モンロー
グッゲンハイム美術館サムソン・アジア美術
シニア・キュレーター
アメリカ
8月26日

日中韓物流大臣会合(中国交通運輸部 次官、
国土交通省審議官他) 34人
日本、中国、韓国
8月26日

リサ・ジャン
LA ルーヴァーギャラリー デイレクター
アメリカ
8月27日

韓国文化芸術会館連合会 京畿支部 15人
韓国
8月28日

国際的な交流・発信

アリア・スワステカ
第13回ジョグジャ・ピエンナーレ ディレクター
インドネシア
8月28日

東南アジア若手キュレーター 12人
インドネシア、フィリピン、マレーシア、タイ
9月1日

日中韓芸術祭泉州・光州市（周泉州市副市长ほか）25人
日本、中国、韓国
9月3日

東アジア文化都市光州演劇団 13人
日本、中国、韓国
9月3日

サリー・タラント
リバプール・ピエンナーレ ディレクター
イギリス
9月6日、7日

カナダ・カウンシル・フォー・ジ・アーツ 8人
カナダ
9月7日

フル・アル・カーシイミ
シャルジャ・ピエンナーレ ディレクター
アラブ首長国連邦
9月7日

ロー・ジー・ウィー
シンガポール国立美術館 ディレクター(学芸・収蔵担当)
シンガポール
9月8日

トビアス・バージャー
M+美術館 キュレーター
中国(香港)
9月8日

リ・ユ・チエ 他
MoMA、MoMA PS1キュレーター
アメリカ
9月9日

ニコラ・カリンスキー
バーミンガム大学附属バーバー美術館 館長
イギリス
9月10日

泉州市美術館 3人
中国
9月11日

モンドリアン・フوند
キュレーター18人(オランダ、デンマーク、スイス)
イネケ・ヴァン・ボルケ、オランダ大使館文化担当
オランダ
9月12日

ポート・ジャーニー・プロジェクト ディレクター
・ジェイムズ・イーノス、“THE PERISCOPE PROJECT” ディレクター、サンディエゴ、アメリカ
・ミヒヤエル・クレス、“FRISE” ディレクター、ハンブルク、ドイツ
・ライハ・コリ、“FRAME” ディレクター、ヘルシンキ、フィンランド
・パトリック・ジュジュ、“LE LIEU UNIQUE” ディレクター、ナント、フランス
・シヨン・ジン、メディア アート ディレクター、光州、韓国
9月14日

サイモン・メイドモント
ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア
現代美術担当キュレーター
オーストラリア
9月14日

キャシー・リー
ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア
シニア・キュレーター
オーストラリア
9月14日

中国大使館文化参事官
中国(日本在住)
9月15日

リ・ユーリン
台新銀行文化藝術基金會芸術監督
台湾
9月15日

ライン・ヴォルフス
ドイツ連邦共和国クンストハレ 館長
ドイツ
9月17日

ズザネ・アネン
ドイツ連邦共和国クンストハレ 展示課長
ドイツ
9月17日

テトマール・ヴェストホフ
ヴェストホフ・ファインアート
ドイツ
9月17日

シャルロット・ハドルストン 他2人
オークランド工科大学 セント・ポール・ストリート・ギャラリー 館長
ニュージーランド
9月17日

ラーナ・ダヴェンポート
ガヴェット・ブルースター・ギャラリー 館長
ニュージーランド
9月20日

泉州市社会科学院 16人
中国
9月21日

クレール・テューオーテ
フランス大使館文化参事官/アンスティチュ・フランセ日本代表
フランス(日本在住)
9月24日

レベッカ・シャドウエル
AV フェスティバル ディレクター
イギリス
9月29日

ピー・リー
M+美術館 シグ・シニア・キュレーター
中国(香港)
9月29日

マッツ・スターンステッド(他、キュレーター1人)
アーティストハウス(オスロ) ディレクター
ノルウェー
10月7日

ジェイン・ドゥヴォワ
アジア・アート・アーカイブ 理事
中国(香港)
10月8日

ハツマド・ナサール
アジア・アート・アーカイブ 調査研究・事業部門長
中国(香港)
10月8日

クリスチャン・メルリオ
京都日仏学院・ヴィラ九条山 館長
フランス(日本在住)
10月11日

韓国アーツ・マネージメント・サービス国際交流部門(KAMS) 招聘韓国キュレーター 5人
韓国
10月12日

スージー・リンガム
シンガポール美術館 館長
シンガポール
10月17日

ミシェル・ホー
シンガポール美術館 キュレーター
シンガポール
10月17日

ゲッティ・リサーチ・インスティテュート
研究者4人、支援者11人
アメリカ
10月23日

デイヴィッド・ロックフェラー・ジュニア、
スーザン・ロックフェラー夫妻
ロックフェラー・ファイナンシャル・サービス・
ディレクター、アジア・カルチュラル・カウ
ンシル理事
アメリカ
10月24日

アジア・カルチュラル・カウンシル理事会
8人
アメリカ、台湾、香港
10月24日

モンテレイ現代美術館 20人
メキシコ
10月26日

イ・ヨンウ
IBA 理事、元光州ビエンナーレ財団理事長
韓国
10月27日

韓国浦項市国際協力課 3人
韓国
10月28日

ジュティス・グリア
シャルジャ・ビエンナーレ財団 国際プログ
ラムディレクター
アラブ首長国連邦
10月30日

ジュディ・アニア
アート・ギャラリー・オブ・ニューサウスウェー
ルズ、写真担当シニア・キュレーター
オーストラリア
10月31日

アン・ミヒ
光州ビエンナーレ財団 ポリシー部門長
韓国
10月31日

イム・ジェイド・キュンヒエ
ソウル市立美術館 展示長
韓国
11月1日

プレツメク・ピントル
国際ドローイングトリエンナーレ CEO
ポーランド
11月3日

ダニエラ・タゴフスカ
キュレーター、イベントマネージャー
ポーランド
11月3日

海外出張

逢坂恵理子

アメリカ

メトロポリタン美術館 Global Museum
Leaders Colloquiumへの参加
4月7日～18日

ドイツ

国際ビエンナーレ協会 (IBA) 総会への参加、
国際美術展調査(ベルリン・ビエンナーレ)
7月10日～13日

韓国

国際美術展調査(光州ビエンナーレ)
9月3日、4日

シンガポール

シンガポール美術館 “Still Moving” での当
館コレクション展オープニング出席
10月2日

韓国

ソウル市立美術館 Asia Art Colloquium
セッション2: The museum responding to
social issues after now [Yokohama Mu-
seum of Art] 講演, 国際美術展調査 (メデ
アシティ・ソウル)
11月21日、22日

柏木智雄

ロシア、スウェーデン、フランス

国際美術展調査(ロシア マニフェスタ 10、他)
9月8日～17日

天野太郎、庄司尚子、大澤紗蓉子

台湾

国際美術展調査(台北ビエンナーレ、他)
12月24日～26日

天野太郎

中国

国際美術展調査(成都、上海ビエンナーレ)
1月11日～16日

シンガポール

シンガポール・アート・プライズ2014授賞式
出席
1月21日～24日

中国(香港)

企画展国際巡回調査
1月24日～27日

オランダ、ベルギー

国際人物交流プログラム参加(モンドリアン
財団、ベルギー視覚音響メディア芸術協会)
3月30日～4月8日

沼田英子

イギリス

国際美術展調査(リバプール・ビエンナーレ、
他)
9月17日～22日

中村尚明

シンガポール

シンガポール美術館 “Still Moving” での当
館コレクション展 展示撤去立会い
9月25日～10月3日 / 2月8日～2月12日

八柳サエ、普川由貴子

台湾

国際美術展調査(關渡ビエンナーレ、台北ビ
エンナーレ)
10月23、24日

内山淳子、太田雅子、柳川文秀、窪田知恵

韓国

国際美術展調査(光州ビエンナーレ、釜山ビ
エンナーレ、メディアシティ・ソウル他)
10月27日～11月1日(窪田10月27日～30日)

木村絵理子

韓国

シンポジウム登壇・発表 “Creating the
Creative City: History and strategy of
Yokohama Triennale”, Asian Biennale
Representatives Conference 釜山ビエン
ナーレ、国際美術展調査(メディアシティ・ソ
ウル、光州ビエンナーレ、釜山ビエンナーレ
他)
9月16日～23日

庄司尚子

中国

国際美術展調査(上海ビエンナーレ)
1月14日～16日

その他

逢坂恵理子

韓国

在横浜大韓民国総領事館「世界の中の現代日
本美術—1990年代以降を中心に」講演
11月28日

資料

入館者数・収支

入館者数

経年推移

平成元年度	1,127,386人	平成10年度	278,954人	平成19年度	413,410人
平成2年度	990,818人	平成11年度	792,905人	平成20年度	770,310人
平成3年度	555,276人	平成12年度	1,082,553人	平成21年度	540,047人
平成4年度	541,465人	平成13年度	862,895人	平成22年度	1,408,713人
平成5年度	1,327,380人	平成14年度	372,395人	平成23年度	459,716人
平成6年度	528,995人	平成15年度	780,928人	平成24年度	662,159人
平成7年度	989,037人	平成16年度	331,873人	平成25年度	1,058,689人
平成8年度	344,239人	平成17年度	1,527,694人	平成26年度	529,748人
平成9年度	942,509人	平成18年度	341,657人		

平成26年度事業別

	3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展	16,087	13,250	16,270	0	0	46,980	31,357	41,734	12,837	15,468	27,874	56,009	4,318	282,184
コレクション展	16,593	13,867	17,373	0	0	0	0	0	0	16,323	27,946	57,008	4,381	153,491
New Artist Picks展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,360	726	8,086
美術情報センター	0	1,388	1,415	1,164	1,146	1,656	1,271	1,184	1,243	1,182	1,370	2,062	1,798	16,879
鑑賞サポート	285	217	327	0	0	1,874	101	550	0	135	577	290	0	4,356
子どものアトリエ	0	1,735	2,534	2,497	2,722	1,852	2,580	1,916	3,438	1,359	2,190	2,270	1,424	26,517
市民のアトリエ	0	10	499	617	571	273	443	659	690	443	419	547	567	5,738
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	86	362	629	997	1,446	766	251	633	146	182	201	186	331	6,216
広報の活動、外部と連携した事業	679	594	761	157	245	1,350	1,569	1,856	218	1,818	1,053	871	0	11,171
その他	0	1,380	1,076	998	441	1,347	1,023	2,184	973	2,370	1,347	1,386	585	15,110
合計	33,730	32,803	40,884	6,430	6,571	56,098	38,595	50,716	19,545	39,280	62,977	127,989	14,130	529,748

収支

収入

指定管理料収入	721,951,000
利用料金収入	63,986,314
事業収入	167,685,148
助成金等	4,846,112
その他収入	58,741,932
合計	1,017,210,506

支出

人件費	333,988,223
事務費	55,497,786
負担金	814,275
管理費	220,050,178
事業費	325,926,252
その他支出	74,352,933
合計	1,010,629,647

役員等・組織図

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団役員

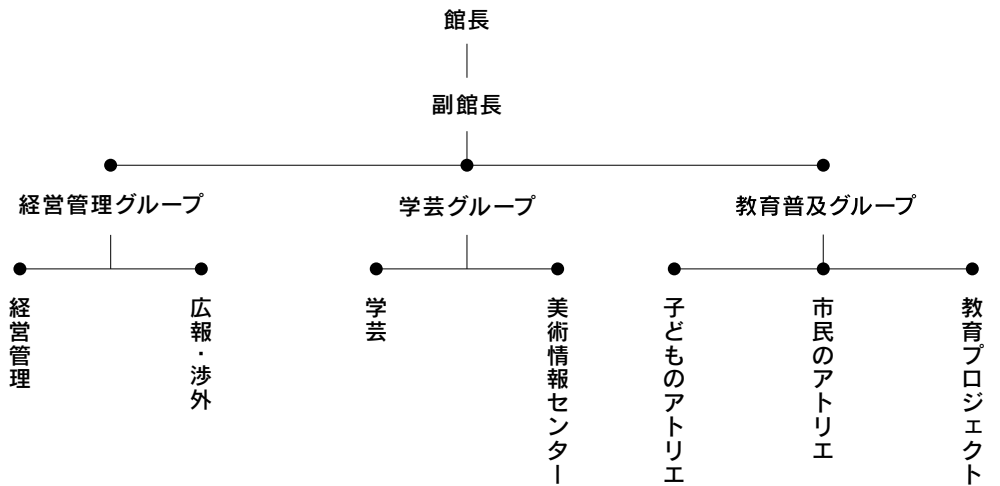
理事長	澄川喜一	彫刻家／元東京藝術大学 学長(代表理事)
専務理事	島田京子	元日本女子大学事務局長(代表理事)
理事	星崎雅代	事務局長 兼 総務グループ長(業務執行理事)
	藤崎信裕	経営企画室長 兼 広報・情報管理グループ長(業務執行理事)
	逢坂恵理子	横浜美術館 館長(業務執行理事)
	中村雅之	横浜能楽堂 館長(業務執行理事)
	恵良隆二	三菱一号館美術館 展覧会プロデューサー
	近澤弘明	株式会社近沢レース店 代表取締役社長
	富岡順一	前国際交流基金 事業開発戦略室長
	久野敦子	公益財団法人セゾン文化財団 プログラム・ディレクター
監事	齋藤貴司	ベイ・タックス税理士法人 代表社員 税理士
	柴田悟一	横浜商科大学 学長／横浜市立大学 名誉教授

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団評議員

上野 孝	横浜商工会議所 相談役／上野トランステック株式会社 代表取締役会長兼社長
大加章雅	NHK横浜放送局 局長
斉藤準一	株式会社神奈川新聞社 取締役 相談役
新堀豊彦	横浜能楽連盟 名誉会長
塚原良一	横浜商工会議所 専務理事
中村行宏	株式会社テレビ神奈川 代表取締役社長
中山こずゑ	横浜市文化観光局 局長
原 範行	株式会社ホテル、ニューグランド 代表取締役会長／原地所株式会社 代表取締役社長

(平成27年3月31日現在)

横浜美術館組織図



職員名簿

館長		逢坂恵理子	
副館長		小川 良	
経営管理グループ	グループ長	操 和憲	
	経営管理	担当グループ長 兼 チームリーダー	杉浦正美
		担当リーダー	鬼木由美
			吉川由紀子
		施設担当リーダー	新海 実
			相原佳奈子
			足立陽子
			阿部 薫
			奥津絵里
			永田麻子
			普川由貴子
			森 双葉
	広報・渉外	チームリーダー	宮野律子
		ビジターサービス担当リーダー	襟川文恵
		担当リーダー	藤井聡子
		大岩久美	
		工藤千愛子	
学芸グループ	グループ長・首席学芸員	窪田知恵	
	学芸	担当グループ長・首席学芸員	柏木智雄
		担当グループ長・首席学芸員	天野太郎
		担当グループ長・首席学芸員	沼田英子
		主任学芸員(チームリーダー)	中村尚明
		主任学芸員(チームリーダー)	八柳サエ
		主任学芸員(チームリーダー)	内山淳子
		主任学芸員(担当リーダー)	木村絵理子
		展覧会コーディネーター(担当リーダー)	庄司尚子
		主任学芸員(担当リーダー)	松永真太郎
		学芸員	大澤紗蓉子
	学芸員	太田雅子	
	学芸員	片多祐子	
		大沢知二	
		小島明美	
美術情報センター	司書	興津美由紀	
	司書	吉田龍一	
教育普及グループ	グループ長	関 淳一	
	子どものアトリエ	担当グループ長・主席ワークショップコーディネーター	山崎 優
		主任ワークショップコーディネーター(担当リーダー)	岡崎智美
		ワークショップコーディネーター	高德早矢香
		ワークショップコーディネーター	東 麻奈美
	市民のアトリエ	主任ワークショップコーディネーター(チームリーダー)	木下真博
		主任ワークショップコーディネーター(担当リーダー)	柳川文秀
		ワークショップコーディネーター	櫻庭瑠実
	教育プロジェクト	主任学芸員(教育普及担当・チームリーダー)	端山聡子
		学芸員(教育普及担当)	坂本恭子
学芸員(教育普及担当)		金井真悠子	

47名(平成27年3月31日現在)

条例・施行規則

横浜美術館条例

昭和63年9月24日
条例第44号

横浜美術館条例をここに公布する。
横浜美術館条例

(設置)

第1条 美術文化の振興と市民の美術に関する学習、創作活動等に寄与するため、横浜美術館(以下「美術館」という。)を横浜市西区に設置する。
(平元条例39・平10条例25・一部改正)

(事業)

第2条 美術館は、次の事業を行う。
(1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)の保管、調査研究、展示及び利用に関すること。
(2) 美術に関する情報の収集及び提供に関すること。
(3) 美術に関する調査及び研究に関すること。
(4) 美術に関する市民の創作活動等の指導及び助言に関すること。
(5) 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。
(6) 前各号の事業のための施設及び設備の提供に関すること。
(7) その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(施設)

第3条 前条に掲げる事業を行うため、美術館に次の施設を置く。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室及びグランドギャラリー
(2) 企画展示室、アトリエ及びレクチャーホール
(3) 駐車場
(平23条例23・一部改正)

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間及び休館日は、規則で定める。

(指定管理者の指定等)

第5条 次に掲げる美術館の管理に関する業務は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、指定管理者(同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせるものとする。
(1) 美術館の施設の利用の許可等に関すること。
(2) 特別利用(第9条第1項に規定する特別利用をいう。)の許可等に関すること。
(3) 第2条に規定する事業の実施に関すること。
(4) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
(5) その他市長が定める業務
2 指定管理者は、横浜市の文化芸術の振興及び普及に関する施策の方針を理解し、美術に関する高度な専門的知識を有するとともに、美術品等の保管、調査研究及び展示、美術に関する講座等の開催その他美術文化の振興を図るための事業を自ら企画し、及び実施し、並びに市民による美術に関する学習、創作活動等に対する支援を行うものでなければならない。
3 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を市長に提出しなければならない。
4 市長は、前項の規定により提出された書類を審査し、かつ、実績等を考慮して、美術館の設置の目的を最も効果的に達成することができるものと認めたものを指定管理者として指定する。
5 市長は、指定管理者の候補者を選定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、第15条第1項に規定する横浜美術館指定管理者選定評価委員会(以下「選定評価委員会」という。)の意見を聴かななければならない。
(平17条例69・追加、平23条例48・一部改正)

(指定管理者の指定等の公告)

第6条 市長は、指定管理者の指定をしたとき、及びその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告しなければならない。
(平17条例69・追加)

(管理の業務の評価)

第7条 指定管理者は、市長が特別の事情があると認める場合を除き、その指定の期間において、第5条第1項各号に掲げる美術館の管理に関する業務について、選定評価委員会の評価を受けなければならない。
(平23条例48・追加)

(利用の許可)

第8条 第3条第2号に掲げる施設を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、美術館の施設の利用が次のいずれかに該当する場合は、利用を許可しないものとする。
(1) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(2) 美術館の設置の目的に反するとき。
(3) 美術館の管理上支障があるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。
4 第1項の許可の手続について必要な事項は、規則で定める。
(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第5条線下・一部改正、平23条例48・旧第7条線下)

(美術品等の特別利用の許可)

第9条 美術館に保管され、又は展示されている美術品等について、学術研究等のため、撮影、模写、模造、熟覧等(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術品等の保全上及び美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、特別利用が次のいずれかに該当する場合は、特別利用を許可しないものとする。
(1) 美術品等の保全上支障があるとき。
(2) 美術館の管理上支障があるとき。
(3) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。
4 第1項の許可の手続について必要な事項は、規則で定める。
(平17条例69・旧第6条線下・一部改正、平23条例48・旧第8条線下)

(利用料金)

第10条 常設展示室において、展示されている美術品等を観覧しようとする者は、指定管理者に対し、その利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を支払わなければならない。
2 美術情報室において、美術情報機器を利用しようとする者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
3 レクチャーホールの利用について、第8条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
4 特別利用について、前条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
5 駐車場を利用する者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
6 第1項の利用料金にあつては別表第1に定める額の範囲内において、第2項の利用料金にあつては別表第2に定める額の範囲内において、第3項の利用料金にあつては別表第3に定める額の範囲内において、第4項の利用料金にあつては1点につき1回又は1日ごとに3,000円の範囲内において、前項の利用料金にあつては別表第4に定める額の範

条例・施行規則

圏内において、指定管理者が市長の承認を得て定めるものとする。

7 第1項から第4項までの利用料金は、前納とする。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、後納とすることができる。

8 第5項の利用料金は、後納とする。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第7条繰下・一部改正、平23条例23・一部改正、平23条例48・旧第9条繰下・一部改正)

(利用料金の減免)

第11条 指定管理者は、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第8条繰下・一部改正、平23条例48・旧第10条繰下)

(利用料金の不返還)

第12条 既納の利用料金は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第9条繰下・一部改正、平23条例48・旧第11条繰下)

(許可の取消し等)

第13条 指定管理者は、第8条第1項及び第9条第1項の規定により許可を受けた者が次のいずれかに該当する場合は、当該許可を取り消し、又は施設の利用若しくは特別利用を制限し、若しくは停止させることができる。

(1) 第8条第3項各号又は第9条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(2) この条例若しくはこの条例に基づく規則の規定又はこれらに基づく指定管理者の処分に違反したとき。

(3) この条例に基づく許可の条件に違反したとき。

(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第10条繰下・一部改正、平23条例48・旧第12条繰下・一部改正)

(入館の制限)

第14条 指定管理者は、美術館の入館者が次のいずれかに該当する場合は、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1) 他の入館者に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。

(2) その他美術館の管理上支障があるとき。

(平17条例69・旧第11条繰下・一部改正、平23条例48・旧第13条繰下)

(横浜美術館指定管理者選定評価委員会)

第15条 指定管理者の候補者の選定、指定管理者による美術館の管理の業務に係る評価等について調査審議するため、横浜美術館指定管理者選定評価委員会を置く。

2 選定評価委員会は、市長が任命する委員10人以内をもって組織する。

3 前項に定めるもののほか、選定評価委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(平23条例48・追加)

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平17条例69・旧第13条繰下、平23条例48・旧第14条繰下)

附則

この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成元年10月規則第96号により同年11月3日から施行)

附則(平成元年9月条例第39号)

この条例は、横浜美術館条例の施行の日から施行する。

附則(平成10年3月条例第17号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際既にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき施設の使用の申請を行っている者に係る当該施設の料金の納付等に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附則(平成13年2月条例第7号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成14年2月条例第5号)抄

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附則(平成17年6月条例第69号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の横浜美術館条例第12条の規定によりその管理に関する事務を委託している横浜美術館については、地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)附則第2条に規定する日までの間は、なお従前の例による。

附則(平成19年2月条例第6号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成23年3月条例第23号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附則(平成23年12月条例第48号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき公の施設の管理に関する業務を行っている指定管理者が、その指定の期間においてこの条例の施行の日前までにこの条例による改正後のそれぞれの条例の規定による当該業務についての評価に相当する評価を受けている場合にあっては、当該期間においては当該業務についての評価に係るこれらの規定は適用しない。

別表第1(第10条第6項)

(平10条例17・平13条例7・平17条例69・平19条例6・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		個人	団体(20人以上)
一般		500円	400円
大学生・高校生	1人1回につき	300円	240円
中学生・小学生		100円	80円

(備考)

- 1 「一般」とは、「大学生・高校生」、「中学生・小学生」及び小学校に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校若しくは各種学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 「中学生・小学生」とは、中学校、中等教育学校の前期課程、小学校若しくは特別支援学校の中学部若しくは小学部に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者をいう。
- 4 小学校に就学するまでの者は、無料とする。

別表第2(第10条第6項)

(平10条例17・平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
ビデオ学習システムブース		100円
名画鑑賞システムブース	1回につき	100円

別表第3(第10条第6項)

(平10条例17・全改、平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		平日	20,000円
レクチャーホール	1日につき	日曜日、土曜日及び休日	24,000円
附帯設備	1式、1台又は 1枚、1日につき	150,000円	

(備考)

- 1 「1日」とは、午前10時から午後9時までをいう。
- 2 「平日」とは日曜日、土曜日及び休日以外の日をいい、「休日」とは国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日をいう。
- 3 レクチャーホール及び附帯設備の利用が、午前10時から午後9時までの時間以外の時間(以下「時間外」という。)にわたった場合の当該時間外に係る利用料金の額は、時間外における利用1時間につき、レクチャーホール及び利用する当該附帯設備の1日の利用料金の額にそれぞれ8分の1を乗じて得た額を合算して得た額とする。この場合において、時間外における利用時間が1時間未満のとき、又はこれに1時間未満の端数があるときは、その時間又は端数時間を1時間として計算する。

別表第4(第10条第6項)

(平23条例23・追加、平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
大型車	1台、30分につき	500円
その他のもの	1台、1時間30分まで	500円
	利用時間が1時間30分を超えるときは、超過時間30分までごとに250円を加算する。	

条例・施行規則

横浜美術館条例施行規則

平成元年10月25日
規則第97号

横浜美術館条例施行規則をここに公布する。
横浜美術館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、横浜美術館条例(昭和63年9月横浜市条例第44号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

- 第2条 横浜美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、次のとおりとする。
- (1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室、グランドギャラリー、企画展示室及びアトリエ 午前10時から午後6時まで
 - (2) レクチャーホール 午前10時から午後9時まで
 - (3) 駐車場 午前10時から午後9時まで(大型車にあつては、午前10時から午後6時まで)
- 2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、開館時間を変更することができる。
(平23規則22・一部改正)

(休館日)

- 第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。
- (1) 木曜日。ただし、その日が、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときはその翌日とし、当該翌日が休日に当たるときは日曜日、土曜日及び休日のいずれにも当たらない直近の日とする。
 - (2) 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで
- 2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、休館日に開館し、又は休館日以外の日に開館しないことができる。
(平14規則32・一部改正)

(指定申請書の提出等)

- 第4条 指定管理者の指定を受けようとするものは、指定申請書(第1号様式)を市長に提出しなければならない。
- 2 前項の申請書には、条例第5条第3項に規定する事業計画書及び次に掲げる書類を添付しなければならない。
- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに類する書類
 - (2) 法人にあつては、当該法人の登記事項証明書
 - (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の収支予算書及び事業計画書並びに前事業年度及び前々事業年度の収支計算書及び事業報告書
 - (4) 美術館の管理に関する業務の収支予算書
 - (5) その他市長が必要と認める書類
- (平17規則89・追加、平19規則47・一部改正)

(施設の利用許可申請等)

- 第5条 条例第8条第1項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、利用許可申請書(第2号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
- 2 指定管理者は、企画展示室及びアトリエについては、指定管理者と共催して美術館の設置目的に合致する事業を行うため当該施設を利用しようとする団体に対し、利用を許可するものとする。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第4条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第6条 前条第1項の申請の受付は利用日の3箇月前の日の属する月の初日から行うものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。ただし、

指定管理者が主催し、又は共催して利用する場合は、この限りでない。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第5条線下・一部改正)

(特別利用の許可申請)

- 第7条 条例第9条第1項の規定により特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書(第3号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第6条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

- 第8条 前条の申請は特別利用をしようとする日の7日前までに行わなければならないものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第7条線下)

(観覧券の発行)

- 第9条 指定管理者は、常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料を観覧しようとする者に対し、観覧券を発行するものとする。この場合において、観覧券の発行は、閉館時間の30分前まで行うものとする。
- 2 前項に規定する観覧券は、利用料金と引換えに交付する。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第8条線下・一部改正)

(美術情報機器の利用)

- 第10条 条例第10条第2項に規定する美術情報機器を利用しようとする者は、美術情報機器に備付けの料金受入機により利用料金を納付しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第9条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(利用料金の後納)

- 第11条 条例第10条第7項ただし書に規定する規則で定める場合は、国又は地方公共団体が利用する場合とする。
(平10規則42・旧第11条線下・一部改正、平17規則89・旧第10条線下・一部改正、平23規則22・平24規則16・一部改正)

(利用料金の減免)

- 第12条 条例第11条に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、免除する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。この場合において、その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。
- (1) 教職員に引率された横浜市内の小学校(特別支援学校の小学部を含む。)若しくは中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)の児童若しくは生徒又は各種学校の小学校若しくは中学校に相当する課程に在学する者の団体及びそれらの引率者が、教育上の目的から常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料の観覧(以下「常設展の観覧」という。)をする場合 利用料金の全額
 - (2) 土曜日に、小学校(特別支援学校の小学部を含む。)、中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。))若しくは高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の児童若しくは生徒、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校の小学校、中学校若しくは高等学校に相当する課程に在学する者又はこれらに準ずると認められる者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
 - (3) 教職員に引率された横浜市内の高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の生徒又は高等専門学校、

専修学校若しくは各種学校の高等学校に相当する課程に在学する者の団体及びそれらの引率者が教育上の目的から常設展の観覧をする場合 利用料金の半額

(4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害との判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者の介護者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額

(5) 国又は地方公共団体がレクチャーホールを利用する場合 利用料金の全額

（平7規則45・平8規則20・一部改正、平10規則42・旧第12条繰上・一部改正、平11規則28・平13規則36・平17規則31・一部改正、平17規則89・旧第11条繰下・一部改正、平19規則47・平24規則16・一部改正）

（利用料金の返還）

第13条 条例第12条ただし書に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、返還する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。

(1) 常設展の観覧、美術情報機器及びレクチャーホールの利用並びに美術品及び美術に関する資料の特別利用について、観覧、利用及び特別利用をする者の責めに帰することができない事由によりこれらの行為ができなくなった場合 既納の利用料金の全額

(2) レクチャーホールの利用の許可を受けた者が利用日の30日前までに利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額

(3) 特別利用の許可を受けた者が利用日の前日までに特別利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額

（平10規則42・追加、平17規則89・旧第12条繰下・一部改正、平24規則16・一部改正）

（委任）

第14条 この規則の施行に関し必要な事項は、文化観光局長が定める。

（平10規則42・旧第14条繰上、平17規則89・旧第13条繰下・一部改正、平18規則84・平22規則29・平23規則22・一部改正）

附則

この規則は、平成元年11月3日から施行する。

附則（平成4年9月規則第88号）

この規則は、平成4年9月12日から施行する。

附則（平成6年3月規則第41号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

（経過措置）

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の（中略）規定により作成されている様式書類は、この規則の施行の日から1年間は、適宜修正の上使用することができる。

附則（平成7年3月規則第45号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附則（平成8年3月規則第20号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附則（平成10年3月規則第42号）

（施行期日）

1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のそれぞれの規則の規定は、この規則の施行の日以後の申請に係る料金の減免及び返還について適用し、同日前の申請に係る料金の減免及び返還については、なお従前の例による。

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前のそれぞれの規則の規定により作成されている様式書類は、なお当分の間、適宜修正の上使用することができる。

4 前2項に定めるもののほか、この規則の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則（平成11年3月規則第28号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附則（平成13年3月規則第36号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附則（平成14年3月規則第32号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附則（平成17年3月規則第31号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成17年6月規則第89号）

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成18年3月規則第84号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

（経過措置）

5 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成19年3月規則第47号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則（平成22年3月規則第29号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

6 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成23年3月規則第22号）

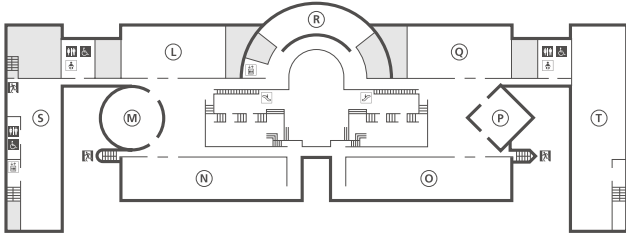
この規則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、第14条の改正規定は、平成23年5月1日から施行する。

附則（平成24年3月規則第16号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

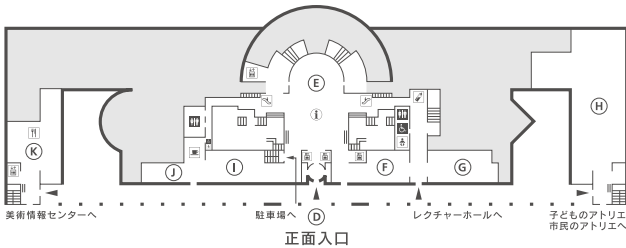
※ 様式省略

3F



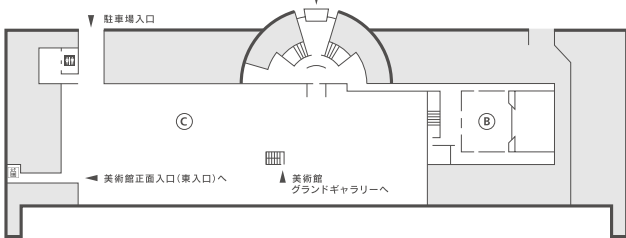
- ①-② 展示室
- ③ 美術情報センター
- ④ 市民のアトリエ

2F



- ⑤ 正面入口
- ⑥ グランドギャラリー
- ⑦ アートギャラリー2
- ⑧ アートギャラリー1
- ⑨ 子どものアトリエ
- ⑩ ミュージアムショップ
- ⑪ カフェ
- ⑫ レストラン

1F



- ⑬ 西入口
- ⑭ レクチャーホール
- ⑮ 駐車場

建築概要

敷地面積 19,803m²
 建築面積 9,621m²
 延床面積 26,829m²
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造8階建(一部3階建)
 外装 花崗岩張り、アルミ成型板張り、軽量コンクリート金ゴテ押さえ、断熱セメントブロック敷込み、金属成型板張り
 内装 岩綿吸音板、プラスターボード、フレキシブルボード、金属成型パネル、花崗岩張り、フローリング板張り
 設計 丹下健三・都市・建築設計研究所
 監理 横浜市建築局、丹下健三・都市・建築設計研究所
 施工 建築工事:JV(竹中工務店、清水建設、奥村組、東急建設、佐藤工業、奈良建設ほか計18社)

休館日

木曜日(祝日を除く)、木曜日に祝日開館した場合はその翌日、年末年始。

開館時間

展覧会: 10:00~18:00(入館は17:30まで)
 美術情報センター: 10:00~18:00(入室および各種利用受付は17:30まで)
 *次の施設は利用時間が異なります。
 ミュージアムショップ: 11:00~18:00
 Café小倉山: 10:45~18:00(ラストオーダー17:30)
 駐車場: 10:00~21:00/収容台数: 169台
 有料(最初の90分500円、以降30分毎に250円)

観覧料

コレクション展: 一般	500 (400) 円
大学・高校生	300 (240) 円
中学生	100 (80) 円
小学生以下	無料

企画展: 展覧会ごとに異なる

()内は有料20名以上の団体料金(要事前申込)

交通案内

電車:

みなとみらい線(東急東横線直通)を利用の場合:
 みなとみらい駅下車、3番出口からマークイズみなとみらい<グランドガレリア>経由、徒歩3分。または<マークイズ連絡口>(10:00~)徒歩5分。
 JR、横浜市営地下鉄を利用の場合:
 桜木町駅下車(動く歩道)を利用、徒歩10分。

車:

桜木町駅前から日本丸方面へ入り。または桜木町駅前から紅葉坂交差点を右折してMM21地区へ入り、美術館へ。横浜駅からは高島町MM21地区入口を通して美術館へ。いずれも3~5分(首都高速「みなとみらい出入口」も利用できます)。

平成26年度 横浜美術館年報

平成27年6月30日発行

横浜美術館

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1

TEL:045-221-0300(代) FAX:045-221-0317

<http://yokohama.art.museum>

© Yokohama Museum of Art 2015

